

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2024年9月11日 提出
【発行者名】	農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 牛窪 克彦
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南一丁目6番5号
【事務連絡者氏名】	田原 輝行
【電話番号】	03-5210-8500
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	N Z A M ・ ベー タ 米 国 2 資 産 （ 株 式 + R E I T ）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	発行価額の総額 上限1兆円
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【証券情報】

（１）【ファンドの名称】

NZAM・ベータ 米国２資産（株式＋REIT）

（以下「ファンド」という場合があります。）

（２）【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託（振替内国投資信託受益権）

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「（11）振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第２条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託者である農林中金全共連アセットマネジメント株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の依頼により、信用格付業者（金融商品取引法第２条第36項に規定する信用格付業者をいう。以下同じ。）から提供され、若しくは閲覧に供された信用格付（金融商品取引法第２条第34項に規定する信用格付をいう。以下同じ。）又は信用格付業者から提供され、若しくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

（３）【発行（売出）価額の総額】

１兆円を上限とします。

（４）【発行（売出）価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額[※]とします。

※ 基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権総口数で除した１口当りの価額をいいます。基準価額は、組入有価証券等の値動きなどにより日々変動します。

なお、基準価額は、便宜上、１万口当りに換算した価額で表示する場合があります。

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社^{（注）}に問い合わせることにより知ることができます。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口

<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前９時から午後５時まで）

<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

（注）委託者、委託者の指定する第一種金融商品取引業者および登録金融機関を総称してまたはそれぞれを「販売会社」ということがあります。（以下同じ。）

なお、販売会社と販売会社以外の第一種金融商品取引業者および登録金融機関が取次契約を結ぶことにより、当ファンドの申し込みを販売会社に取り次ぐ場合があります。

（５）【申込手数料】

申込手数料はかかりません。

（６）【申込単位】

販売会社が個別に定める単位とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ただし、「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申込単位は、１口の整数倍とします。

（７）【申込期間】

2024年９月12日から2025年３月11日までとします。（継続申込期間）

※ 上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

（８）【申込取扱場所】

当ファンドの申込取扱場所（販売会社）については下記の照会先までお問い合わせください。

■照会先

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前９時から午後５時まで）
<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

（９）【払込期日】

取得申込者は、申込代金[※]を販売会社の指定する日までに販売会社に支払うものとします。

振替受益権に係る各取得申込日の発行価額の総額は、追加信託が行われる日に販売会社により委託者である農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の指定する口座を経由して、受託者である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

※ 「申込代金」とは、申込金額（取得申込受付日の翌営業日の基準価額×申込口数）に販売会社が個別に定める申込手数料および当該申込手数料に係る消費税等に相当する金額を加算した額をいいます。

（１０）【払込取扱場所】

上記「（８）申込取扱場所」に同じです。

受益権の取得申込者は、申込代金を販売会社において支払うものとします。

（１１）【振替機関に関する事項】

ファンドの受益権に係る振替機関は下記の通りです。

株式会社 証券保管振替機構

（１２）【その他】

該当事項はありません。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、S & P 5 0 0 指数（配当込み、当社円換算ベース）およびS & P米国REIT指数（配当込み、当社円換算ベース）の比率を均等とした合成指数に連動する投資成果を目指して運用を行います。

一般社団法人 投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類は以下のとおりです。

（当ファンドが該当する部分を網掛け表示しています。定義などの詳細については、一般社団法人 投資信託協会のホームページ<<https://www.toushin.or.jp/>>をご覧ください。）

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	補足分類
単位型投信 追加型投信	国 内 海 外 内 外	株 式 債 券 不動産投信 その他資産 () 資産複合	インデックス型 特殊型

商品分類定義

追加型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。
海外	目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
資産複合	目論見書又は投資信託約款において、株式、債券、不動産投信（リート）、その他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。
インデックス型	目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。

＜ファンドの特色＞

ファンドの目的

米国の株式およびREIT（不動産投資信託）市場の値動きに連動する投資成果を目指します。

ファンドの特色

米国の株式およびREITを主要投資対象とし、S&P500指数（配当込み、当社円換算ベース）およびS&P米国REIT指数（配当込み、当社円換算ベース）の比率を均等とした合成指数に連動する投資成果を目指して運用を行います。

当ファンドのベンチマークは、各指数を以下の割合で合成し指数化したものとしします。

指数	構成割合
S&P500指数（配当込み、当社円換算ベース）	50%
S&P米国REIT指数（配当込み、当社円換算ベース）	50%

- ファンドは、マザーファンドを通じて投資を行います。各マザーファンドへの投資配分は以下を基本とします。

マザーファンド	主要投資対象	主な投資態度	基本配分比率
S&P500 インデックス・マザーファンド	米国株式	S&P500指数（配当込み、当社円換算ベース）と連動する成果を目指します。	50%
S&P 米国REIT インデックス・マザーファンド	米国REIT	S&P米国REIT指数（配当込み、当社円換算ベース）と連動する成果を目指します。	50%

- 上記の基本配分比率には各マザーファンド受益証券ごとに一定の許容乖離幅を設け、一定以上乖離した場合にはリバランスを行います。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

- 基準価額の値動きに関する留意点

当ファンドは、基準価額が対象インデックス（ベンチマーク）に連動する投資成果を目指しますが、主として信託報酬、取引コスト、対象インデックスの市場と先物市場の値動きの差等の要因から、対象インデックスの動きと完全に一致するものではありません。

- 指数の著作権等について

S&P500®（以下「S&P500指数」といいます。）、S&P米国REIT（以下「S&P米国REIT指数」といいます。）はS&P Dow Jones Indices LLC（以下「SPDJ」）の商品であり、これを利用するライセンスが農林中金全連アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC（以下「S&P」といいます。）の登録商標です。また、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（以下「Dow Jones」といいます。）の登録商標です。これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが農林中金全連アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P500指数、S&P米国REIT指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

※ファンドは、S&P500 インデックス・マザーファンドおよびS&P 米国 REIT インデックス・マザーファンドを通じて投資を行います。

ファンドの仕組み

当ファンドはファミリーファンド方式により、各マザーファンドへの投資を通じて、実質的に米国株式、米国REITに投資を行います。

ファミリーファンド方式とは、複数の投資信託の資金をまとめて「マザーファンド（親投資信託）」と呼ばれる投資信託に投資し、マザーファンドが株や債券などの資産に投資する仕組みのことです。

一般の投資家は「ベビーファンド」と呼ばれるファンドを購入し、ベビーファンドはマザーファンドに対して投資を行います。



※株式には DR（預託証券）を含みます。

主な投資制限

- 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
- 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
- デリバティブ取引は、価格変動リスクおよび金利変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。

分配方針

毎年12月11日（休日の場合は翌営業日）に経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、原則として委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※なお、当ファンドは信託財産の成長を優先するため、収益の分配を行わない場合があります。

資金動向・市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

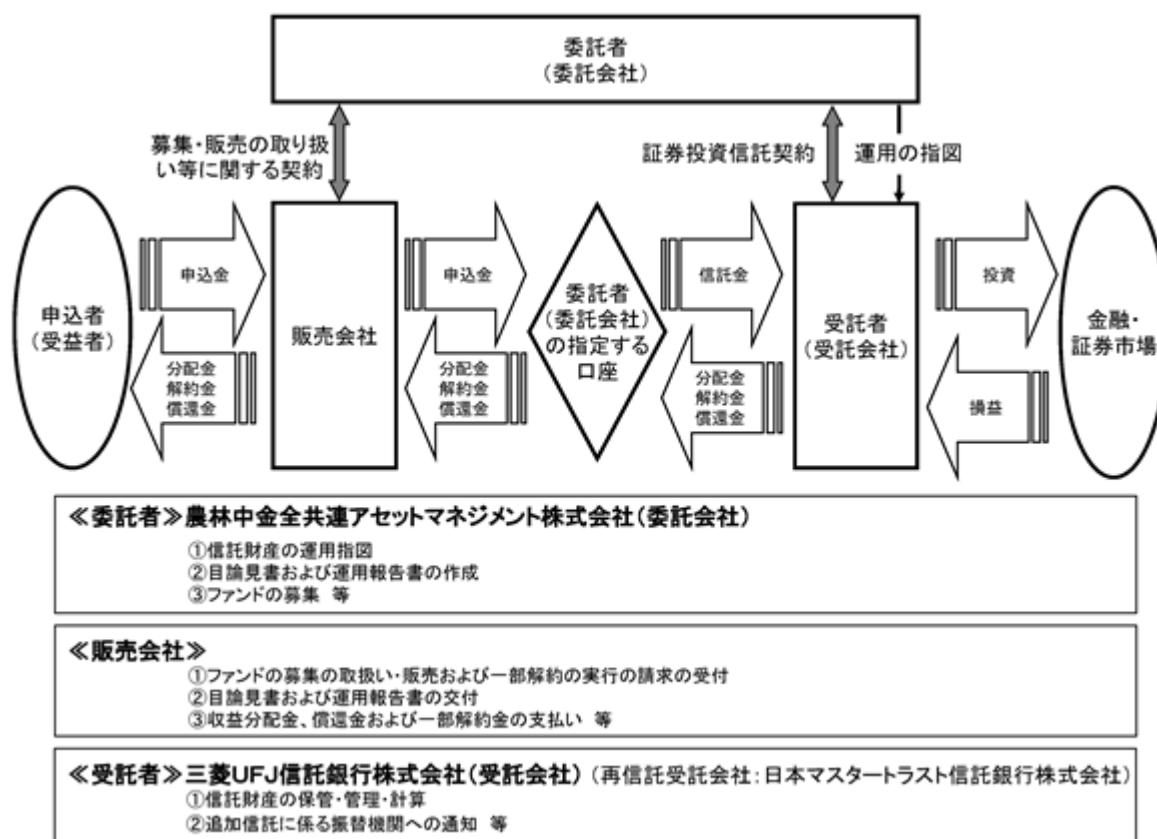
（2）【ファンドの沿革】

2020年1月27日 有価証券届出書の提出

2020年2月12日 募集開始日

2020年2月13日 信託契約締結日、ファンドの設定、運用開始日

(3) 【ファンドの仕組み】



委託者（委託会社）の概況（2024年7月31日現在）

① 資本金の額

1,466百万円

② 沿革

1993年9月28日 農中投信株式会社設立

10月8日 証券投資信託委託業の免許取得

10月13日 営業開始

1996年8月20日 投資顧問業務の登録

9月30日 投資一任業務認可取得

10月1日 エヌケイユー投資顧問株式会社と合併し、同日付で「農中投信投資顧問株式会社」へ商号変更

2000年10月1日 「農林中金全共連アセットマネジメント株式会社」へ商号変更

2007年9月30日 金融商品取引業の登録

③ 大株主の状況

株主名	住所	持株数 (株)	持株比率 (%)
農林中央金庫	東京都千代田区大手町1丁目2番1号	19,551	66.66
全国共済農業協同組合連合会	東京都千代田区平河町2丁目7番9号	9,779	33.34

(注) 農林中央金庫が保有する株式は普通株式19,550株および議決権を有しないA種優先株式1株であり、全国共済農業協同組合連合会が保有する株式は普通株式9,778株および議決権を有しないB種優先株式1株です。

なお、議決権保有比率の状況は次のとおりです。

農林中央金庫 66.66%

全国共済農業協同組合連合会 33.34%

2【投資方針】

（1）【投資方針】

a. 基本方針（運用の基本方針）※

この投資信託は、S & P 500 指数（配当込み、当社円換算ベース）および S & P 米国 R E I T 指数（配当込み、当社円換算ベース）の比率を均等とした合成指数に連動する投資成果を目指して運用を行います。

※ 「運用の基本方針」および「約款第〇条」とは、信託約款の条項等と対応しております。（以下同じ。）

b. 運用方法

① 投資対象

S & P 500 インデックス・マザーファンド受益証券および S & P 米国 R E I T インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。

② 投資態度

（イ）S & P 500 指数（配当込み、当社円換算ベース）および S & P 米国 R E I T 指数（配当込み、当社円換算ベース）の比率を均等とした合成指数をベンチマークとし、上記のマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国株式（D R（預託証券）を含みます。）および米国上場不動産投資信託に実質的に投資することにより、ベンチマークに連動する投資成果を目指して運用を行います。

（ロ）各マザーファンド受益証券への投資配分比率（以下、「基本配分比率」といいます。）は以下を基本とします。

S & P 500 インデックス・マザーファンド受益証券：1／2

S & P 米国 R E I T インデックス・マザーファンド受益証券：1／2

（ハ）上記の基本配分比率には各マザーファンド受益証券ごとに一定の変動許容幅を設け、一定以上乖離した場合にはリバランスを行います。

（ニ）各マザーファンド受益証券への合計投資割合は、原則として高位に保ちます。

（ホ）実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

（ヘ）資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

（2）【投資対象】

a. 投資の対象とする資産の種類（約款第15条）

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

① 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ. 有価証券

ロ. デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第22条、第23条および第24条に定めるものに限ります。）

ハ. 金銭債権

ニ. 約束手形

② 次に掲げる特定資産以外の資産

イ. 為替手形

b. 運用の指図範囲等（約款第16条第1項から第3項）

① 委託者は、信託金を、主として農林中金全共連アセットマネジメント株式会社を委託者とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託者として締結されたS & P 500 インデックス・マザーファンドおよびS & P 米国 R E I T インデックス・マザーファンド（以下これらを総称して「マザーファンド」といいます。）の受益証券のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

1. 株券または新株引受権証書

2. 国債証券

3. 地方債証券

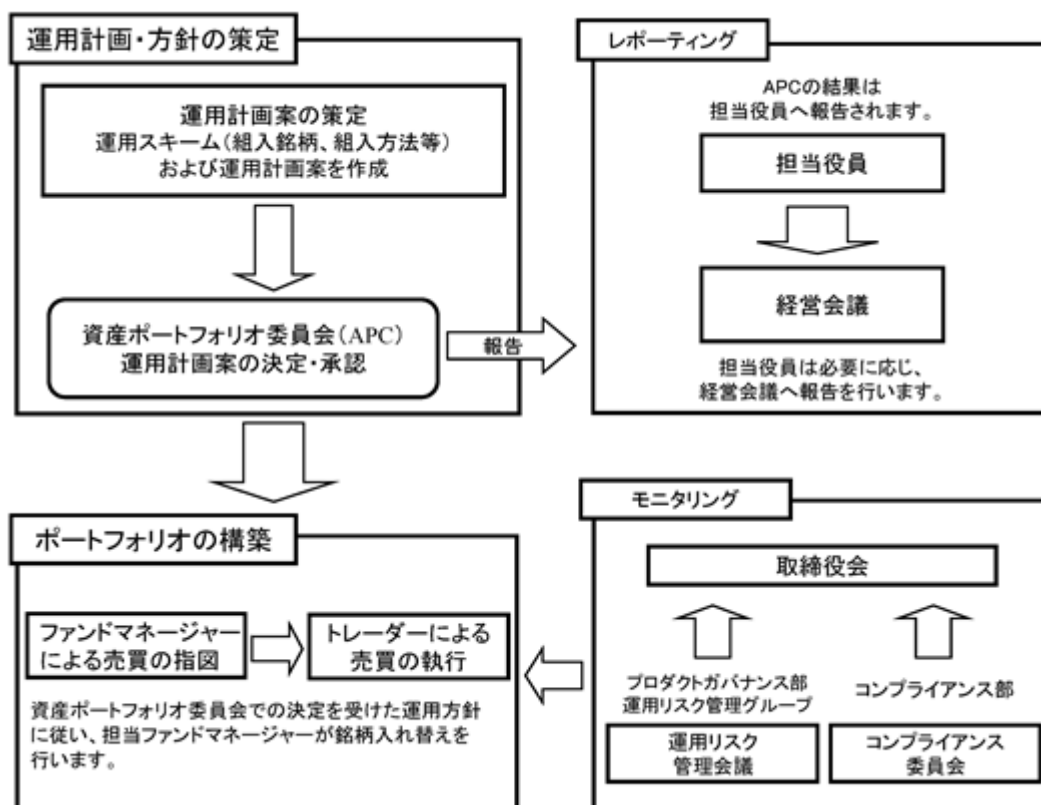
4. 特別の法律により法人の発行する債券
 5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
 6. 資産の流動化に関する法律に規定する特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
 7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
 8. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
 9. 資産の流動化に関する法律に規定する優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
 10. 資産の流動化に関する法律に規定する受益証券（金融商品取引法第2条第1項第13号で定めるものをいいます。）
 11. コマーシャル・ペーパー
 12. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
 13. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号（上記1. から上記12. ）の証券または証書の性質を有するもの
 14. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
 15. 投資証券、新投資口予約権証券もしくは投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
 16. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
 17. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
 18. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
 19. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
 20. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
 21. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
 22. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
 23. 外国の者に対する権利で第22号（上記22. ）の有価証券の性質を有するもの
- なお、第1号（上記1. ）の証券または証書、第13号ならびに第18号（上記13. ならびに上記18. ）の証券または証書のうち第1号（上記1. ）の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、第2号から第6号（上記2. から上記6. ）までの証券、第15号（上記15. ）の証券のうち投資法人債券、および第13号ならびに第18号（上記13. ならびに上記18. ）の証券または証書のうち第2号から第6号（上記2. から上記6. ）までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、第14号（上記14. ）の証券および第15号（上記15. ）の証券（新投資口予約権証券および投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。
- ② 委託者は、信託金を、第1項（上記①）に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。以下本条において同じ。）により運用することを指図することができます。
 1. 預金
 2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
 3. コール・ローン
 4. 手形割引市場において売買される手形
 5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
 6. 外国の者に対する権利で前号（上記5. ）の権利の性質を有するもの

- ③ 第1項（上記①）の規定にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託者が運用上必要と認めるときには、委託者は、信託金を第2項（上記②）に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

（３）【運用体制】

１．運用体制

NZAM・ベータ 米国２資産（株式＋REIT）は、以下の投資プロセスに基づいた組織的運用を行います。



<資産ポートフォリオ委員会（APC）>

原則月1回以上開催し、ファンドの運用計画を決定（承認）します。

２．ファンドの運用に携わる人員等

部署	人員
運用部	100名程度 （うち 投資判断に携わる者 85名程度）
トレーディング部	10名程度
コンプライアンス部	10名程度
プロダクトガバナンス部 運用リスク管理グループ	5名程度

３．ファンドの関係者に対する管理体制等

委託者は、ファンドの関係法人である受託会社について、その財務状況、管理体制、法令遵守体制等について定期的にモニタリングを行うとともに、必要に応じ適宜ヒアリング等を実施します。

※ 運用体制は、本書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（４）【分配方針】

ａ．収益分配方針（運用の基本方針 ３．収益分配方針）

毎決算時（原則として毎年12月11日、休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

① 分配対象額の範囲

経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

② 分配対象額についての分配方針

収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

③ 留保益の運用方針

留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

※ なお、当ファンドは信託財産の成長を優先するため、収益の分配を行わない場合があります。

b. 収益の分配方式（約款第40条）

① 投資信託財産から生じる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。

1. 配当金、利子、貸付有価証券に係る品貸料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額（以下「配当等収益」といいます。）は、諸経費、監査費用、当該監査費用に係る消費税等に相当する金額、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除した後、その残額を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。

2. 売買損益に評価損益を加減した利益金額（以下「売買益」といいます。）は、諸経費、監査費用、当該監査費用に係る消費税等に相当する金額、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

② 毎計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。

c. 収益分配金の再投資等

① 収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため委託者および販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としします。）に、原則として決算日から起算して5営業日までに、支払いを開始するものとします。

② 「分配金再投資コース」をお申し込みの場合は、収益分配金は税引き後無手数料で再投資されますが、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

（5）【投資制限】

a. 株式への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

株式への実質投資割合には、制限を設けません。

b. 外貨建資産への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

c. 外国為替予約取引への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

d. デリバティブ取引への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

デリバティブ取引は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。

e. 新株引受権証券および新株予約権証券への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第16条第4項および6項）

委託者は、投資信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち投資

信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。

上記において投資信託財産に属するとみなした額とは、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める当該各資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

f. 投資信託証券への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第16条第5項および6項）

委託者は、投資信託財産に属する投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

上記において投資信託財産に属するとみなした額とは、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める当該各資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

g. 同一銘柄の新株引受権証券等への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第20条）

① 委託者は、投資信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する当該新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち、投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

② 委託者は、投資信託財産に属する同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する当該転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち、投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

③ 前各項（上記①②）において投資信託財産に属するとみなした額とは、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める当該各資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

h. 先物取引等の運用指図（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第22条）

① 委託者は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めて取り扱うものとします（以下同じ。）。

② 委託者は、わが国の金融商品取引所における通貨に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨に係るこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

③ 委託者は、わが国の金融商品取引所における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所における金利に係るこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

i. スワップ取引の運用指図（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第23条）

① 委託者は、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。

② スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が原則として約款第4条に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

- ③ スワップ取引の指図にあたっては、当該投資信託財産に係るスワップ取引の想定元本の総額とマザーファンドの投資信託財産に係るスワップ取引の想定元本の総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額（以下「スワップ取引の想定元本の合計額」といいます。以下本項において同じ。）が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、投資信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が投資信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
- ④ 前項（上記③）において、マザーファンドの投資信託財産に係るスワップ取引の想定元本の総額のうち投資信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの投資信託財産に係るスワップ取引の想定元本の総額にマザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。
- ⑤ スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利などをもとに算出した価額で評価するものとします。
- ⑥ 委託者は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受け入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受け入れの指図を行うものとします。

j. 金利先渡し取引および為替先渡し取引の運用指図（運用の基本方針 2.運用方法（3）投資制限、約款第24条）

- ① 委託者は、金利先渡し取引および為替先渡し取引を行うことの指図をすることができます。
- ② 金利先渡し取引および為替先渡し取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として約款第4条に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ③ 金利先渡し取引および為替先渡し取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- ④ 委託者は、金利先渡し取引および為替先渡し取引を行うにあたり担保の提供あるいは受け入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受け入れの指図を行うものとします。

k. デリバティブ取引等に係る投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。

l. 信用リスク集中回避のための投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

m. 投資する株式等の範囲（約款第19条）

- ① 委託者が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。
- ② 第1項（上記①）の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託者が投資することを指図することができるものとします。

n. 信用取引の指図および範囲（約款第21条）

- ① 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引き渡しまたは買い戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- ② 第1項（上記①）の信用取引の指図は、次の各号（下記1. から下記6. ）に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次の各号（下記1. から下記6. ）に掲げる株券数の合計数を超えないものとします。

1. 投資信託財産に属する株券および新株引受権証券の権利行使により取得する株券
 2. 株式分割により取得する株券
 3. 有償増資により取得する株券
 4. 売り出しにより取得する株券
 5. 投資信託財産に属する転換社債の転換請求および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使により取得可能な株券
 6. 投資信託財産に属する新株引受権証券および新株引受権付社債券の新株引受権の行使、または投資信託財産に属する新株予約権証券および新株予約権付社債券の新株予約権（第5号（上記5.）に定めるものを除きます。）の行使により取得可能な株券
- o. 有価証券の貸付の指図および範囲（約款第25条）
- ① 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、投資信託財産に属する株式および公社債を次の各号（下記1. 2.）の範囲内で貸付けるとの指図をすることができます。
 1. 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、投資信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、投資信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
 - ② 前項各号（上記①1. 上記①2.）に定める限度額を超えることとなった場合には、委託者は、速やかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
 - ③ 委託者は、有価証券の貸し付けにあたって必要と認めたときは、担保の受け入れの指図を行うものとします。
- p. 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限（約款第26条）
- 外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。
- q. 外国為替予約の指図および範囲（約款第27条）
- ① 委託者は、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
 - ② 第1項（上記①）の予約取引の指図は、投資信託財産に係る為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、投資信託財産に属する外貨建資産とマザーファンドの投資信託財産に属する外貨建資産のうち投資信託財産に属するとみなした額（投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。）との合計額について、為替変動リスクを回避するために行う当該予約取引の指図については、この限りではありません。
 - ③ 第2項（上記②）の限度額を超えることとなった場合には、委託者は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。
- r. 一部解約の請求および有価証券の売却等の指図（約款第31条）
- 委託者は、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券に係る投資信託契約の一部解約の請求および投資信託財産に属する有価証券の売却等の指図ができます。
- s. 再投資の指図（約款第32条）
- 委託者は、前条（上記r.）の規定によるマザーファンドの受益証券の一部解約金、有価証券の売却代金、有価証券に係る償還金等、株式の清算分配金、有価証券等に係る利子等、株式の配当金およびその他の収入金を再投資することの指図ができます。
- t. 資金の借入れ（約款第33条）
- ① 委託者は、投資信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図を行うことができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
 - ② 第1項（上記①）の一部解約に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間、もしくは受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等

の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。

- ③ 収益分配金の再投資に係る借入期間は、投資信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- ④ 借入金の利息は投資信託財産中より支弁します。

u. デリバティブ取引に係る制限（金融商品取引法第42条の2第7号、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号）

委託者は、運用財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ金融商品取引業者等が定めた合理的な方法により算出した額が当該運用財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券、新投資口予約権証券又はオプションを表示する証券若しくは証書に係る取引及び選択権付債券売買を含む。）を行い、又は継続することを内容とした運用を行わないこととなっております。

v. 同一の法人の発行する株式（投資信託及び投資法人に関する法律第9条及び同法施行規則第20条）

委託者は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、投資信託財産として有する当該株式に係る議決権（株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株式についての議決権を除き、会社法（平成17年法律第86号）第879条第3項の規定により議決権を有するものとみなされる株式についての議決権を含む。）の総数が、当該株式に係る議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、投資信託財産をもって取得することを受託者に指図しないこととなっております。

(参考)

「S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンドの概要」

運用の基本方針

約款第14条に基づき、委託者の定める運用の基本方針は次のものとします。

1. 基本方針

この投資信託は、S & P 5 0 0 指数（配当込み、当社円換算ベース）と連動する投資成果を目指して運用を行います。

2. 運用方法

(1) 投資対象

米国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

- ① S & P 5 0 0 指数（配当込み、当社円換算ベース）をベンチマークとし、主として米国の株式（DR（預託証券）を含みます。）等に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ② 株式（DR（預託証券）を含みます。）等への投資割合は、原則として高位に保ちます。
- ③ ベンチマークとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の投資比率が投資信託財産の純資産総額を超える場合があります。
- ④ 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ⑤ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(3) 投資制限

- ① 株式への投資割合には、制限を設けません。
- ② 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
- ③ 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
- ④ デリバティブ取引は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
- ⑤ 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の20%以内とします。
- ⑥ 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- ⑦ 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- ⑧ 同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。
- ⑨ 有価証券先物取引等は、約款第19条の範囲で行います。
- ⑩ スワップ取引は、約款第20条の範囲で行います。
- ⑪ 金利先渡取引および為替先渡取引は、約款第21条の範囲で行います。
- ⑫ デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- ⑬ 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

(参考)

「S & P米国REITインデックス・マザーファンドの概要」

運用の基本方針

約款第14条に基づき、委託者の定める方針は次のものとします。

1. 基本方針

この投資信託は、S&P米国REIT指数（配当込み、当社円換算ベース）と連動する投資成果を目指して運用を行います。

2. 運用方法

(1) 投資対象

米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託受益証券および不動産投資法人投資証券（以下、総称して「不動産投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

- ① S&P米国REIT指数（配当込み、当社円換算ベース）をベンチマークとし、主として米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ② 不動産投資信託証券の投資割合は、原則として高位に保ちます。
- ③ ベンチマークとの連動を維持するため、先物取引等を利用し不動産投資信託証券の投資比率が投資信託財産の純資産総額を超える場合があります。
- ④ 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ⑤ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(3) 投資制限

- ① 不動産投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
- ② 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
- ③ デリバティブ取引は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
- ④ 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
- ⑤ 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- ⑥ 有価証券先物取引等は、約款第17条の範囲で行います。
- ⑦ デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- ⑧ 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

3【投資リスク】

（1）投資リスク

当ファンドの取得申込者には、慎重に投資判断を行うために、当ファンドの投資目的、リスクおよび留意事項を認識することが求められます。当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に値動きのある有価証券等（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、**受益者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。また、投資信託は、預貯金と異なります。**

当ファンドが有する主なリスクは以下のとおりです。

① 株価変動リスク

一般に、株式は国内外の景気、政治、経済、社会情勢等の影響を受け、また、個別企業の業績や株式市場全体の動向を反映して価格が大きく変動します。ファンドに組入れている株式の価格が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが投資する企業が業績悪化や倒産等に陥った場合は、その企業の株式の価格が大きく下落しあるいは無価値となるため、ファンドに重大な損失が生じることがあります。

② リートの価格変動リスク

一般に、リートは不動産市況（価格、賃料、稼働率等）や金利の変動、関係法令・規制、国内外の景気、政治、経済、社会情勢、災害等の影響を受け、また、リートの収益や財務内容の変化を反映して価格が大きく変動します。ファンドに組入れているリートの価格が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが投資するリートやそのスポンサー企業が業績悪化や倒産等に陥った場合は、当該リートの価格が大きく下落しあるいは無価値となるため、ファンドに重大な損失が生じることがあります。

③ 乖離リスク

当ファンドは、合成指数との連動性をより高めるよう運用を行いますが、主として次の要因により合成指数の動きと乖離が生じます。

イ. 売買委託手数料、信託報酬等を負担することによる影響

ロ. 売買執行価格と取引所終値との乖離による影響

ハ. 先物取引等を活用した場合、当該先物取引等の価格と合成指数との乖離による影響

ニ. 合成指数との構成比率が異なることによる影響

ホ. 組入銘柄の配当金・分配金受取による影響

④ 為替変動リスク

一般に、外貨建資産は当該通貨の円に対する外国為替相場の変動（円高・円安）の影響を受け、その円換算した価値も変動します。外国為替相場が外貨建資産の当該通貨に対して円高となった場合には、ファンドに組入れている外貨建資産の円換算した価値が下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、外国為替相場は外国為替市場の需給、世界各国の投資環境・金利動向のほか各国政府・中央銀行の介入・通貨政策等によって短期間に大きく変動することもありますので、当該通貨に対して極端に円高が進行する場合には、ファンドの基準価額も大きく下落することがあります。

⑤ カントリーリスク

一般に、外国証券（債券・株式等）は当該国・地域の政治・経済・社会情勢、通貨規制、資本規制等による影響を受けます。当該国・地域の政治・経済・社会情勢の変化により金融・証券市場が混乱した場合には、ファンドに組入れている外国証券の価格が下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、一般に新興経済国・発展途上国のカントリーリスクは先進国と比べて高いものとなります。

⑥ 流動性リスク

市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合、有価証券等を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。

また、大口の解約申込があった場合など、解約資金を手当てするためにファンドで保有する有価証券等を大量に換金しなければならないことがあります。その際、市場動向や取引量の状

況によっては、当該換金にかかる取引自体が市場実勢を押し下げ、通常よりも不利な状況での取引となり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

（２）その他の留意事項

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
 - 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
 - 収益分配金に関する留意点として、以下の事項にご注意ください。
 - ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 - ・ 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
 - 合成指数が上昇する場合に基準価額も連動して同程度上昇することを目指していますが、その反面、合成指数が下落する場合に基準価額も連動して同程度下落することとなります。たとえば、合成指数が10%上昇する場合に基準価額も10%程度上昇し、逆に合成指数が10%下落する場合に基準価額も10%程度下落するような運用を行います。
 - 実質的な株式およびリートの組入比率を高位に保つとともに、原則として為替ヘッジ[※]を行わないことから、基準価額は大きく変動することもあります。
 - 当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象としている他のベビーファンドにおいて、設定・解約や資産構成の変更等によりマザーファンドの組入有価証券等に売買が生じた場合、その売買による組入有価証券等の価格の変化や売買手数料等の負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。
これにより、マザーファンドの基準価額が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。
- ※ 「為替ヘッジ」とは、「為替変動リスク」を軽減するために行う外国為替取引を意味します。

（３）投資リスクに対する管理体制

① フロントにおけるリスク管理体制

フロント部門（運用部）では、担当ファンドマネージャーが、リスクモデルによるトラッキング・エラー（市場全体の動きとファンドが乖離するリスク）の水準を管理しています。また、日々のトラッキング・エラー管理を行い、資産ポートフォリオ委員会で決められた方針の範囲内となるよう、管理を行うとともに、直属管理者が状況をモニタリングしています。

② ミドルにおけるリスク管理体制

ミドル部門（プロダクトガバナンス部運用リスク管理グループ）は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行いフロント部門を牽制することにより、受益者の負託に応える適正な運用プロセスを構築しています。委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

具体的には、信託財産の運用者として、適切なファンドの運用責任を果たす観点から、市場リスクをはじめとする各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理、および組織的に決定さ

れた運用計画に従って運用されるよう管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証・報告しています。また、不正な取引から顧客の利益を保護し、ファンド運用の適正性を確保する観点から、ファンドが法令等のルールに従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、コンプライアンス委員会においてこれらの遵守状況を報告・審議しています。

〔運用リスク管理会議〕

原則として月1回開催し、運用リスクや運用パフォーマンスの状況ならびに、コンプライアンス委員会において報告される事項を除く、法令、協会ルール、信託約款、契約細則等の遵守状況の検証および、運用計画と実績の検証結果について報告・審議を行います。その結果は取締役会に報告されます。

〔コンプライアンス委員会〕

原則として年4回開催し、ファンドの法令等（法令、協会ルール、信託約款等）の遵守状況など運用の適切性確保に関することについて報告・審議を行います。その結果は取締役会に報告されます。

※ 投資リスクに対する管理体制は、本書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

参考情報

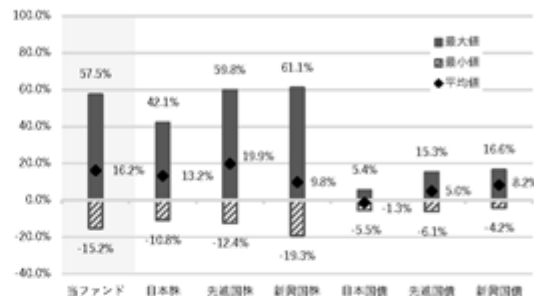
当ファンドの年間騰落率及び
分配金再投資基準価額の推移

*2019年8月～2024年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率及び分配金再投資基準価額の推移について表示したものです。

なお、2021年1月までは、ベンチマークの騰落率を表示しております。

*当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されていますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの
騰落率の比較

*2019年8月～2024年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

なお、2021年1月までの年間騰落率については、当ファンドのベンチマークを用いて算出しております。

*すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（税引前配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：FTSE 新興国市場国債インデックス（円ベース）

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

- 配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。
- 「NOMURA-BPI国債」は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は同社に帰属します。なお、同社は、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- 「MSCI コクサイ・インデックス」、「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- 「FTSE 世界国債インデックス（除く日本）」、「FTSE 新興国市場国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

4【手数料等及び税金】

（１）【申込手数料】

申込手数料はかかりません。

（２）【換金（解約）手数料】

換金（解約）手数料はかかりません。

（３）【信託報酬等】

信託報酬等の額および支弁の方法

- ① 委託者および受託者の信託報酬（消費税等に相当する金額を含みます。）の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年率0.407%（税抜0.37%）の率を乗じて得た額とします。
- ② 上記①の信託報酬は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（当該終了日が休業日の場合はその翌営業日とします。）および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁するものとし、委託者と受託者との間の配分は以下のとおり（税抜）とします。

（年率）

委託者	販売会社	受託者	合計
0.17%	0.17%	0.03%	0.37%

※ 信託報酬の委託者への配分は、ファンドの運用と調査、受託会社への指図、目論見書など法定書面等の作成、基準価額の算出等への対価です。

※ 信託報酬の販売会社への配分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等への対価です。これらの業務に対する代行手数料は、委託者が一旦収受した後、販売会社に対して支払うものとし、また、委託者による直接募集に係る部分は販売会社配分相当額を委託者が収受します。

※ 信託報酬の受託者への配分は、運用財産の管理、委託者からの指図の実行への対価です。

※ ファンドが投資対象とするリートは市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示しておりません。

（４）【その他の手数料等】

- ① 信託財産の組入有価証券を売買する際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料に係る消費税等に相当する金額および先物取引・オプション取引等に要する費用および外国における資産の保管時に要する費用は、信託財産中から支弁します。
- ② 信託財産に関する租税および信託財産の財務諸表の監査に要する監査費用[※]（消費税等に相当する金額を含みます。）等の信託事務の処理に要する諸費用および受託者の立て替えた立替金の利息（以下「諸経費」といいます。）は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
 ※ 監査法人等に支払う監査費用は計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に一定率（年率0.0033%（税抜0.003%））を乗じて計算し、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
- ③ 委託者は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において一部解約金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借り入れの指図をすることができます。借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- ④ その他の手数料等については、運用状況等により変動するものであり、監査費用を除き、事前に料率、上限額等を表示することができません。

（１）から（４）の手数料等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

（５）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

- ① 個人の受益者に対する課税
 ○収益分配金に対する課税

公募株式投資信託の分配金（普通分配金のみ）については、税率20.315%（所得税15.315%※、地方税5%）が適用されます。（原則として確定申告不要です。）

確定申告を行い、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。

○一部解約時・償還時における課税

公募株式投資信託の一部解約・償還による譲渡益（解約価額、償還価額から取得費用（申込手数料および当該手数料にかかる消費税等相当分を含みます。）を控除した差益額）については、税率20.315%（所得税15.315%※、地方税5%）が適用されます。（源泉徴収ありの特定口座は、原則として確定申告不要です。）

※ 2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の税率には復興特別所得税（0.315%）が含まれます。

○損益通算について

一部解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）ならびに特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の利子所得等および譲渡所得等との損益通算が可能です。

○少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度の適用対象となります。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。

当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」及び「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

② 法人の受益者に対する課税

法人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については、15.315%（所得税15.315%※、地方税の源泉徴収はありません。）の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。

※ 2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の税率には復興特別所得税（0.315%）が含まれます。

収益分配金のうち、所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。なお、税額控除が適用されます。益金不算入制度の適用はありません。

<個別元本について>

- ① 追加型株式投資信託について、各受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料に係る消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。
- ② 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行う都度、当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。
- ③ ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合については、各販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数の支店等で同一ファンドを取得する場合は、当該支店等毎に個別元本の算出が行われることがあります。
- ④ 受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。（「元本払戻金（特別分配金）」については、下記の<収益分配金の課税について>をご参照ください。）

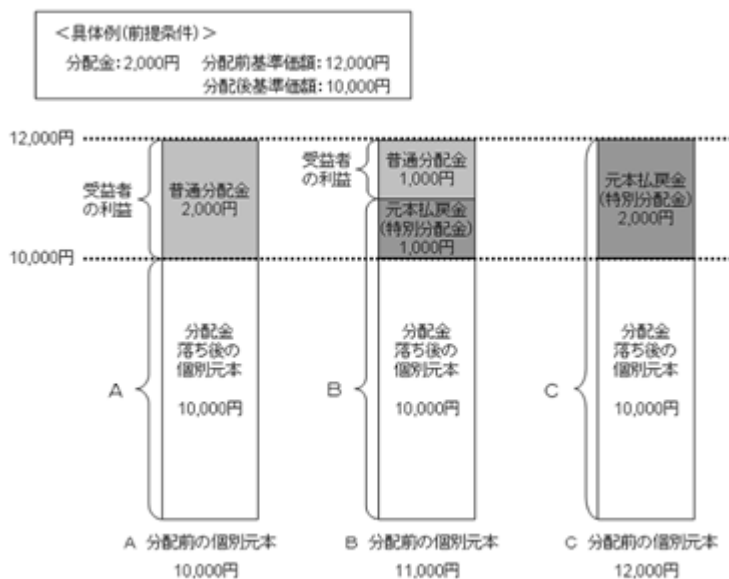
＜収益分配金の課税について＞

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者の元本の払い戻しに相当する部分）の区分があります。

受益者が収益分配金を受け取る際、①当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額または当該受益者の個別元本を上回る場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、②当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回る場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した残額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

＜収益分配時の個別元本のイメージ図＞



※上記はあくまでもイメージ図であり、基準価額の水準および収益分配金等を約束するものではありません。

（注意）

- 当ファンドは、一定の条件に該当する場合の少額貯蓄非課税制度（マル優制度）の対象とはなっていません。
- 販売会社によっては、受益権を買い取る場合があります。
- 外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- 法人受益者に対する課税方法、税額控除に関する事項は法人の形態により異なることもありますので、販売会社に確認のうえ処理してください。
- 税制が改正された場合等には、上記の内容（2024年7月31日現在）が変更となることがあります。詳しくは、販売会社、税務署等へお問い合わせください。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

■ 参考情報：ファンドの総経費率

直近の運用報告書作成の対象期間（2022年12月13日～2023年12月11日）における当ファンドの総経費率（年率換算）は以下の通りです。

総経費率（①+②）	①運用管理費用の比率		②その他費用の比率	
0.54%	0.41%		0.13%	

※対象期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、購入時手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた額で除した総経費率（年率）です。

※計算方法等の詳細は、対象期間の運用報告書（全体版）をご覧ください。

5【運用状況】

2024年 7月31日現在の運用状況は、以下のとおりです。

表示単位未満の端数が生じる場合には、金額は各々切り捨て、比率は各々四捨五入により記載しております。したがって、表示の合計値が個別数値と一致しない場合もあります。

なお、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

NZAM・ベータ 米国2資産（株式＋REIT）

(1)【投資状況】

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	959,675,335	99.96
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	390,092	0.04
合計(純資産総額)		960,065,427	100.00

(2)【投資資産】

①【投資有価証券の主要銘柄】

イ.評価額上位銘柄明細

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	S&P米国REITインデッ クス・マザーファンド	218,530,354	1.9015	415,535,469	2.2074	482,383,903	50.24
2	日本	親投資信託 受益証券	S&P500インデックス・ マザーファンド	159,746,781	2.5108	401,105,567	2.9878	477,291,432	49.71

ロ.種類別投資比率

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.96
合計	99.96

②【投資不動産物件】

該当事項はありません。

③【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】**①【純資産の推移】**

期別	純資産総額（円）		1万口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末（2020年12月11日）	20,001,618	20,001,618	9,262	9,262
第2計算期間末（2021年12月13日）	129,775,300	129,775,300	13,467	13,467
第3計算期間末（2022年12月12日）	343,350,554	343,350,554	13,466	13,466
第4計算期間末（2023年12月11日）	721,270,488	721,270,488	15,785	15,785
2023年 7月末日	611,422,315	—	15,344	—
8月末日	675,318,795	—	15,665	—
9月末日	676,895,565	—	15,040	—
10月末日	650,911,459	—	14,371	—
11月末日	709,576,409	—	15,582	—
12月末日	746,008,067	—	16,322	—
2024年 1月末日	774,861,918	—	16,846	—
2月末日	814,862,459	—	17,484	—
3月末日	855,852,490	—	18,115	—
4月末日	865,747,396	—	18,010	—
5月末日	891,776,463	—	18,302	—
6月末日	968,781,946	—	19,587	—
7月末日	960,065,427	—	19,170	—

②【分配の推移】

期	計算期間	1万口当たりの分配金（円）
第1計算期間末	2020年 2月13日～2020年12月11日	0
第2計算期間末	2020年12月12日～2021年12月13日	0
第3計算期間末	2021年12月14日～2022年12月12日	0
第4計算期間末	2022年12月13日～2023年12月11日	0

③【収益率の推移】

期	計算期間	収益率（％）
第1計算期間末	2020年 2月13日～2020年12月11日	△7.4
第2計算期間末	2020年12月12日～2021年12月13日	45.4
第3計算期間末	2021年12月14日～2022年12月12日	△0.0
第4計算期間末	2022年12月13日～2023年12月11日	17.2
第5中間計算期間末	2023年12月12日～2024年 6月11日	19.0

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

（４）【設定及び解約の実績】

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第1計算期間末	2020年 2月13日～2020年12月11日	27,970,594	6,375,330	21,595,264
第2計算期間末	2020年12月12日～2021年12月13日	107,660,272	32,888,603	96,366,933
第3計算期間末	2021年12月14日～2022年12月12日	252,903,414	94,291,075	254,979,272
第4計算期間末	2022年12月13日～2023年12月11日	259,050,270	57,098,256	456,931,286
第5中間計算期間末	2023年12月12日～2024年 6月11日	72,688,277	38,849,062	490,770,501

(注)第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

（参考）

S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	81,385,367,905	90.70
	パナマ	32,596,062	0.04
	オランダ	168,922,657	0.19
	アイルランド	1,811,767,352	2.02
	スイス	382,551,094	0.43
	リベリア	70,025,353	0.08
	バミューダ	130,708,842	0.15
	キュラソー	128,264,773	0.14
	ジャージー	63,231,410	0.07
	小計	84,173,435,448	93.81
投資証券	アメリカ	1,874,726,374	2.09
	小計	1,874,726,374	2.09
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	3,683,750,966	4.10
合計(純資産総額)		89,731,912,788	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	3,670,602,760	4.09

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	建別	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	買建	—	245,798,759	0.27

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国／地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	178,226	28,777.18	5,128,842,086	33,353.87	5,944,527,191	6.62
2	アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	91,899	58,301.43	5,357,843,152	64,469.92	5,924,721,619	6.60
3	アメリカ	株式	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	304,153	9,203.51	2,799,277,868	15,812.60	4,809,450,092	5.36
4	アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	113,234	23,552.17	2,666,906,828	27,699.87	3,136,567,351	3.50
5	アメリカ	株式	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	27,097	56,210.63	1,523,139,688	70,608.68	1,913,283,499	2.13
6	アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	72,631	21,413.36	1,555,274,395	25,959.00	1,885,428,680	2.10
7	アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	60,424	21,669.51	1,309,358,853	26,198.33	1,583,008,399	1.76
8	アメリカ	株式	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	金融サービス	22,385	56,107.67	1,255,970,230	67,265.67	1,505,742,121	1.68
9	アメリカ	株式	ELI LILLY & CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9,871	99,813.87	985,262,798	120,459.61	1,189,056,834	1.33
10	アメリカ	株式	BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	53,863	16,257.38	875,671,500	21,878.18	1,178,424,883	1.31
11	アメリカ	株式	JP MORGAN CHASE & CO	銀行	35,508	24,454.09	868,316,025	32,803.56	1,164,788,936	1.30
12	アメリカ	株式	TESLA INC	自動車・自動車部品	34,307	34,576.12	1,186,203,102	33,936.19	1,164,248,966	1.30
13	アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	11,380	81,260.54	924,745,028	87,855.74	999,798,380	1.11
14	アメリカ	株式	EXXON MOBIL CORPORATION	エネルギー	55,467	16,103.17	893,194,557	18,013.83	999,173,374	1.11
15	アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	金融サービス	19,464	38,753.34	754,295,118	40,106.96	780,641,947	0.87
16	アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	29,758	22,833.13	679,468,513	24,593.14	731,842,814	0.82
17	アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	29,183	23,520.53	686,399,687	24,649.54	719,347,759	0.80
18	アメリカ	株式	MASTERCARD INCORPORATED	金融サービス	10,151	62,891.94	638,416,137	68,209.27	692,392,380	0.77
19	アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	一般消費財・サービス流通・小売り	12,254	48,460.80	593,838,728	55,440.90	679,372,832	0.76
20	アメリカ	株式	COSTCO WHOLESALE CORP	生活必需品流通・小売り	5,484	97,233.51	533,228,600	123,480.97	677,169,657	0.75

21	アメリカ	株式	ABBVIE INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	21,835	22,383.78	488,750,051	28,472.74	621,702,347	0.69
22	アメリカ	株式	WALMART INC	生活必需品流通・小売り	52,818	8,713.67	460,239,023	10,547.32	557,088,537	0.62
23	アメリカ	株式	MERCK & CO. INC.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	31,318	16,567.26	518,853,633	17,568.70	550,216,859	0.61
24	アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	84,126	4,792.30	403,157,577	6,292.72	529,381,631	0.59
25	アメリカ	株式	CHEVRON CORP	エネルギー	21,193	22,533.25	477,547,307	24,324.85	515,516,563	0.57
26	アメリカ	株式	NETFLIX INC	メディア・娯楽	5,328	74,229.62	395,495,421	94,906.09	505,659,675	0.56
27	アメリカ	株式	COCA-COLA COMPANY	食品・飲料・タバコ	47,940	8,917.00	427,481,295	10,317.13	494,603,653	0.55
28	アメリカ	株式	SALESFORCE INC	ソフトウェア・サービス	12,009	35,928.51	431,465,552	39,318.84	472,180,060	0.53
29	アメリカ	株式	ADOBE INC	ソフトウェア・サービス	5,539	88,907.78	492,460,223	82,120.95	454,867,955	0.51
30	アメリカ	株式	PEPSICO INC	食品・飲料・タバコ	16,999	25,688.96	436,686,653	26,399.55	448,766,106	0.50

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内／外国	業種	投資比率 (%)
株式	外国	電力・ガス	0.09
		エネルギー	3.57
		素材	2.17
		資本財	5.34
		商業・専門サービス	1.18
		運輸	1.50
		自動車・自動車部品	1.55
		耐久消費財・アパレル	0.75
		消費者サービス	1.76
		メディア・娯楽	7.68
		一般消費財・サービス流通・小売り	5.51
		生活必需品流通・小売り	1.80
		食品・飲料・タバコ	2.59
		家庭用品・パーソナル用品	1.28
		ヘルスケア機器・サービス	4.78
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.83
		銀行	3.30
		金融サービス	7.34
		保険	2.09
		ソフトウェア・サービス	11.12
		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.28
		電気通信サービス	0.83
		公益事業	2.30
		半導体・半導体製造装置	10.02
		不動産管理・開発	0.14
投資証券	外国	—	2.09
合計			95.89

投資不動産物件
 該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	地域	取引所	資産の名称	買建／ 売建	数量	通貨	帳簿価額	帳簿価額 (円)	評価額	評価額 (円)	投資比率 (%)
株価指数先物取引	アメリカ	シカゴ商業取引所	S&P MIN 2409	買建	88	米ドル	24,511,825	3,736,582,615	24,079,000	3,670,602,760	4.09

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	通貨	買建／ 売建	数量	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資比率 (%)
為替予約取引	米ドル	買建	1,612,672.86	248,400,000	245,798,759	0.27

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

S & P米国REITインデックス・マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資証券	アメリカ	7,018,937,088	99.07
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	65,781,386	0.93
合計(純資産総額)		7,084,718,474	100.00

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	アメリカ	投資証券	PROLOGIS INC	37,920	16,819.02	637,777,346	19,221.15	728,866,372	10.29
2	アメリカ	投資証券	EQUINIX INC	3,887	119,951.60	466,251,903	117,191.29	455,522,578	6.43
3	アメリカ	投資証券	WELLTOWER INC	24,489	13,491.10	330,383,644	17,109.86	419,003,498	5.91
4	アメリカ	投資証券	REALTY INCOME CORP	35,665	7,981.08	284,645,548	8,897.92	317,344,416	4.48
5	アメリカ	投資証券	SIMON PROPERTY	13,350	18,729.88	250,043,999	23,599.23	315,049,805	4.45
6	アメリカ	投資証券	PUBLIC STORAGE	6,478	39,879.65	258,340,418	46,398.16	300,567,298	4.24
7	アメリカ	投資証券	DIGITAL REALTY TRUST INC	13,291	20,636.40	274,278,499	22,109.89	293,862,649	4.15
8	アメリカ	投資証券	EXTRA SPACE STORAGE INC	8,672	19,943.93	172,953,792	24,862.96	215,611,623	3.04
9	アメリカ	投資証券	VICI PROPERTIES INC	42,726	4,444.12	189,879,735	4,789.66	204,643,218	2.89
10	アメリカ	投資証券	IRON MOUNTAIN INC	12,006	9,613.81	115,423,465	15,440.64	185,380,415	2.62
11	アメリカ	投資証券	AVALONBAY COMMUNITIES INC	5,816	26,367.56	153,353,749	31,423.98	182,761,876	2.58
12	アメリカ	投資証券	EQUITY RESIDENTIAL	14,125	8,681.72	122,629,359	10,605.25	149,799,167	2.11
13	アメリカ	投資証券	VENTAS INC	16,579	6,815.70	112,997,640	8,362.85	138,647,829	1.96
14	アメリカ	投資証券	INVITATION HOMES INC	23,583	5,096.24	120,184,766	5,333.87	125,788,788	1.78
15	アメリカ	投資証券	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES	6,447	16,255.48	104,799,138	18,143.40	116,970,556	1.65
16	アメリカ	投資証券	ESSEX PROPERTY TRUST INC	2,630	33,354.16	87,721,460	42,805.15	112,577,549	1.59
17	アメリカ	投資証券	MID-AMERICA APARTMENT COMMUNITIES INC	4,785	19,013.30	90,978,661	21,541.29	103,075,103	1.45
18	アメリカ	投資証券	SUN COMMUNITIES INC	5,105	18,426.83	94,068,970	19,396.46	99,018,956	1.40
19	アメリカ	投資証券	HEALTHPEAK PROPERTIES INC.	28,825	2,622.25	75,586,611	3,329.28	95,966,772	1.35
20	アメリカ	投資証券	KIMCO REALTY CORP	27,334	2,883.94	78,829,719	3,358.25	91,794,492	1.30
21	アメリカ	投資証券	GARMING AND LEISURE PROPERTIES INC.	11,120	7,011.45	77,967,346	7,660.10	85,180,423	1.20
22	アメリカ	投資証券	WP CAREY INC	8,963	8,460.55	75,831,976	9,268.35	83,072,238	1.17
23	アメリカ	投資証券	EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	7,638	10,468.53	79,958,677	10,449.76	79,815,282	1.13
24	アメリカ	投資証券	HOST HOTELS AND RESORTS INC	28,877	2,612.51	75,441,594	2,713.43	78,355,775	1.11
25	アメリカ	投資証券	UDR INC	12,409	5,181.65	64,299,141	6,227.17	77,273,002	1.09
26	アメリカ	投資証券	CAMDEN PROPERTY TRUST	4,363	13,834.08	60,358,099	17,041.26	74,351,050	1.05
27	アメリカ	投資証券	AMERICAN HOMES 4 RENT-A	13,180	5,562.03	73,307,633	5,509.18	72,611,013	1.02
28	アメリカ	投資証券	REGENCY CENTERS CORP	6,736	9,517.73	64,111,440	10,425.37	70,225,303	0.99
29	アメリカ	投資証券	CUBESMART	9,214	5,944.34	54,771,152	7,428.40	68,445,288	0.97
30	アメリカ	投資証券	REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	8,903	7,171.79	63,850,516	7,547.30	67,193,651	0.95

ロ. 種類別及び業種別の投資比率

種類	投資比率（％）
投資証券	99.07
合計	99.07

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

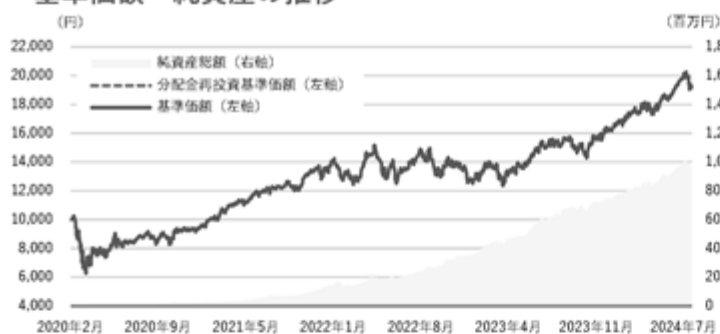
該当事項はありません。

<参考情報>

交付目論見書の運用実績（2024年7月末現在）

2024年7月末現在

基準価額・純資産の推移



・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資して算出。

分配の推移

決算期／年月日	分配金
1期 2020年12月11日	0円
2期 2021年12月13日	0円
3期 2022年12月12日	0円
4期 2023年12月11日	0円
設定以来累計	0円

・分配金のデータは、1万口当たり、税引前の金額です。

主要な資産の状況

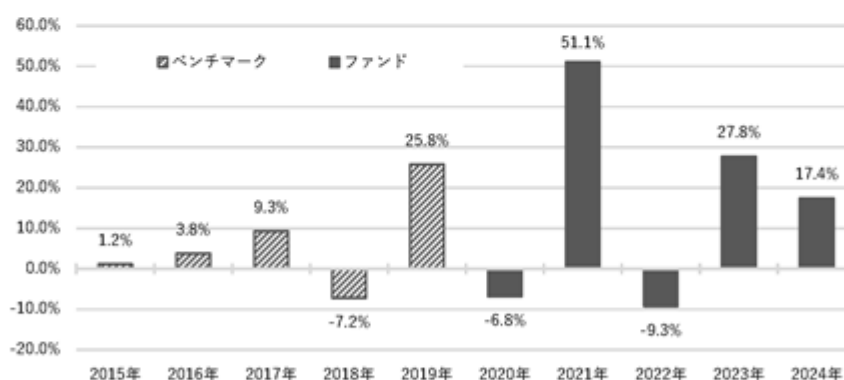
■ N Z A M ・ ベー タ 米 国 2 資 産（株式+REIT）

資産の組入比率

資産の種類	組入比率（％）
S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド	49.7
S & P 米 国 RE I T インデックス・マザーファンド	50.2
短期資産等	0.0

- ・組入比率は、各ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・短期資産等は、コール・ローン、CP、CD、未収金、未払金等が含まれます。

年間収益率の推移



- ・ベンチマークは、「S&P500指数（配当込み、当社円換算ベース）およびS&P米国REIT指数（配当込み、当社円換算ベース）の比率を均等とした合成指数」です。
- ・ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資して算出。
- ・2019年以前は、ベンチマークの収益率を表示。
- ・2020年は設定日（2月13日）から年末までの騰落率、2024年は年初から運用実績作成基準日までの騰落率を表示。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

※ベンチマークはあくまで参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。

※最新の運用実績は、農林中金全共連アセットマネジメントのホームページでご確認いただけます。

（参考）マザーファンド

主要な資産の状況

■ S&P500インデックス・マザーファンド

組入上位銘柄

銘柄名	業種	組入比率（％）
1 APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.6
2 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	6.6
3 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	5.4
4 AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	3.5
5 META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	2.1
6 ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	2.1
7 ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	1.8
8 BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	金融サービス	1.7
9 ELI LILLY & CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.3
10 BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	1.3

■ S&P米国REITインデックス・マザーファンド

組入上位銘柄

銘柄名	組入比率（％）
1 PROLOGIS INC	10.3
2 EQUINIX INC	6.4
3 WELLTOWER INC	5.9
4 REALTY INCOME CORP	4.5
5 SIMON PROPERTY	4.4
6 PUBLIC STORAGE	4.2
7 DIGITAL REALTY TRUST INC	4.1
8 EXTRA SPACE STORAGE INC	3.0
9 VICI PROPERTIES INC	2.9
10 IRON MOUNTAIN INC	2.6

・組入比率は、各マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

（1）申込期間

当ファンドは、原則として継続申込期間中の販売会社の営業日に受益権の募集が行われます。

※ 継続申込期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。

（2）取得申込

（イ）原則として、購入の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後3時まで^{（注）}に完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。

（注）2024年11月5日以降は、「午後3時30分まで」となる予定です。

取得申込の受け付けは、販売会社の営業日に限り行われます。

（ロ）委託者は、原則としてニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、取得申込の受け付けを行いません。申込受付不可日については、委託者または販売会社にお問い合わせください。

また、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた取得申込を取り消す場合があります。

（ハ）取得申込の際、「分配金受取コース」もしくは「分配金再投資コース」のいずれかをお申し出ください。

なお、販売会社によっては、どちらか一方のコースのみの取扱いとなる場合があります。

（ニ）「分配金再投資コース」をご利用の場合、取得申込者は、販売会社との間で、「NZAM・ベータ 米国2資産（株式+REIT）累積投資規定」に従った分配金再投資に関する契約（「累積投資契約」）を締結します。

（ホ）取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたは予め、当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託者は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとし、振替機関等は、委託者から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託者は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

（3）申込単位

申込単位は、販売会社が個別に定める単位とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ただし、「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申込単位は、1口の整数倍とします。

（4）申込手数料

申込手数料はかかりません。

（5）申込価額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

ただし、「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申込価額は、各計算期間終了日の基準価額とします。

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社にお問い合わせることにより知ることができます。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

2【換金（解約）手続等】

（1）一部解約申込

（イ）受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託者に販売会社が個別に定める単位をもって一部解約の実行を請求することができます。委託者は、一部解約の実行の請求を受け付けた場合には、この信託契約の一部を解約します。

また、受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。

（ロ）原則として、換金の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後3時まで^{（注）}に完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。※

（注）2024年11月5日以降は、「午後3時30分まで」となる予定です。

一部解約の実行の請求の受け付けは、販売会社の営業日に限り行われます。

※ 信託財産の資産管理を円滑に行うために大口の一部解約の実行の請求の場合は、別途制限を設ける場合があります。

（ハ）委託者は、原則としてニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、一部解約の実行の請求の受け付けを行いません。

また、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた一部解約の実行の請求を取り消す場合があります。

一部解約の実行の請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者が当該一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受け付けたものとして下記（2）に準じて計算された価額とします。

（ニ）換金の請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求に係るこの信託契約の一部解約を委託者が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

（2）解約価額

解約価額は、一部解約実行の請求日の翌営業日の基準価額となります。

解約価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
<ホームページアドレス><https://www.ja-asset.co.jp/>

（3）一部解約金の支払い

一部解約金は、受益者の請求を受け付けた日から起算して、原則として5営業日目から受益者に支払います。一部解約金の支払いは、販売会社の営業所等において行うものとします。

上記のほか、販売会社によっては、受益権を買い取る場合があります。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

3【資産管理等の概要】

（1）【資産の評価】

a. 基準価額の計算方法（追加信託の価額および口数、基準価額の計算方法（約款第8条））

基準価額とは、投資信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価または一部償却原価法により評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。

なお、外貨建資産（外国通貨表示の有価証券（以下「外貨建有価証券」といいます。））、預金その他の資産をいいます。以下同じ。）の円換算については、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。約款第27条に規定する予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

なお、基準価額は、便宜上、1万口当りに換算した価額で表示することがあります。

b. 主要な投資対象資産の評価方法

ファンドの主要な投資対象資産の評価につきましては、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って、以下のとおり評価しております。

資産の種類	評価方法
親投資信託 受益証券	時価により評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
株式・不動産投資信託 証券	原則として、時価により評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所または外国金融商品市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準じる価額）、もしくは第一種金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。

c. 基準価額の算出頻度等

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

なお、基準価額は日本経済新聞に掲載されます。（ファンド名の表示は「β米2資産」です。）

農林中金全連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口 <フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで） <ホームページアドレス>https://www.ja-asset.co.jp/
--

（2）【保管】

該当事項はありません。

（3）【信託期間】

信託期間（約款第4条）

この信託の期間は、無期限（信託契約締結日から約款第46条第1項、第47条第1項、第48条第1項および第50条第2項の規定による信託終了の日まで）とします。

（4）【計算期間】

信託の計算期間（約款第36条）

a. この信託の計算期間は、毎年12月12日から翌年12月11日までとすることを原則とします。

ただし、第1計算期間は、信託契約締結日から2020年12月11日までとします。

b. 上記a.の規定にかかわらず、上記a.の原則により各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日の翌営業日と

し、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は、約款第4条に定める信託期間の終了日とします。

（５）【その他】

ａ．信託期間の終了

下記の信託約款の条項に規定する場合は、信託期間終了日前に信託契約を解約し、当該信託を終了させる場合があります。

（イ）信託契約の解約（約款第46条）

- ① 委託者は、約款第4条の規定による信託終了前に、信託契約の一部を解約することにより受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- ② 委託者は、第1項（上記①）の事項について、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- ③ 前項（上記②）の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ④ 第2項（上記②）の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑤ 第2項から前項（上記②から上記④）までの規定は、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合、または委託者が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。

（ロ）信託契約に関する監督官庁の命令（約款第47条第1項）

委託者は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令に従い、この信託契約を解約し信託を終了させます。

（ハ）委託者の登録取り消し等に伴う取り扱い（約款第48条）

- ① 委託者が監督官庁より登録の取り消しを受けたとき、解散したとき、または業務を廃止したときは、委託者は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。
- ② 第1項（上記①）の規定にかかわらず、監督官庁がこの信託契約に関する委託者の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、約款第51条第2項の書面決議において否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託者との間において存続します。

（ニ）受託者の辞任および解任に伴う取り扱い（約款第50条）

- ① 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して投資信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、約款第51条の規定に従い、新受託者を選任します。なお、受益者は上記によって行う場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。
- ② 委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

ｂ．約款の変更

約款の変更は、信託約款の下記の条項により行うものとします。

（イ）信託契約に関する監督官庁の命令（約款第47条第2項）

委託者は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、約款第51条の規定に従います。

（ロ）信託約款の変更等（約款第51条）

- ① 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行うことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとします。
- ② 委託者は、前項（上記①）の事項（上記①の変更事項にあっては、その変更の内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあってはその併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- ③ 前項（上記②）の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ④ 第2項（上記②）の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑤ 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- ⑥ 第2項から前項（上記②から上記⑤）までの規定は、委託者が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- ⑦ 前各項（上記①から上記⑥）の規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあっては、当該併合にかかる一又は複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

c. その他の契約の変更**＜募集・販売の取扱い等に関する契約＞**

委託者と販売会社（取次登録金融機関は除きます。）との間の募集・販売の取扱い等に関する契約は当事者の別段の意思表示がない限り、1年ごとに自動的に更新されます。

当契約は、当事者間の合意により変更することができます。

その終了または変更は、必要に応じて運用報告書に記載する等の方法により受益者に対して通知を行う手配をしますが、必ずしも直ちに受益者全員にこれを知らせるものではありません。

d. 運用報告書等**＜運用報告書＞**

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律の規定に基づき当該信託財産の計算期間の末日毎に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて当該信託財産に係る知れている受益者に対して交付します。

運用報告書（全体版）は、委託者のホームページで閲覧できます。なお、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜有価証券報告書および半期報告書＞

委託者は、金融商品取引法第24条第1項の規定に基づき有価証券報告書および同法第24条の5第1項の規定に基づき半期報告書を作成し、関東財務局に提出します。

<臨時報告書>

委託者は、金融商品取引法第24条の5第4項の規定に基づき臨時報告書を作成し、関東財務局に提出します。

e. 委託者の事業の譲渡および承継に伴う取り扱い（約款第49条）

- ① 委託者は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することがあります。
- ② 委託者は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることがあります。

f. 公告（約款第55条）

委託者が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

g. 信託約款に関する疑義の取り扱い（約款第57条）

信託約款の解釈について疑義が生じたときは、委託者と受託者との協議により定めます。

h. 信託事務処理の再信託

受託者は、当ファンドに係る信託事務の処理の一部について、日本マスタートラスト信託銀行株式会社と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託に係る契約書類に基づいて所定の事務を行います。

4【受益者の権利等】

受益者は「投資信託及び投資法人に関する法律」ならびに信託約款の規定および本書の記載にしたがい、以下の権利を有するものとします。

（イ）収益分配金に対する請求権

受益者は、持分に応じて収益分配金を請求する権利を有します。

- ① 収益分配金は、毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託者の指定する日（原則として計算期間終了日から起算して5営業日）までに、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため委託者および販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払いを開始するものとします。
- ② 収益分配金の支払い[※]は、販売会社の営業所等において行うものとします。
- ③ 委託者は上記①の規定にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者に対しては、受託者が委託者の指定する預金口座等に払い込むことにより、原則として、毎計算期間終了日の翌営業日に、収益分配金が委託者の指定する販売会社に交付されます。この場合、委託者の指定する販売会社は、受益者に対し遅滞なく収益分配金の再投資にかかる受益権の売付けを行います。当該売付けにより増加した受益権は、約款第10条第3項の規定にしたがい、振替口座簿に記載または記録されます。
- ④ 委託者は上記①の規定にかかわらず、委託者の自らの募集に応じた受益者に帰属する受益権にかかる収益分配金（受益者が自己に帰属する受益権の全部もしくは一部の口数について、委託者に対し、この信託の収益分配金の再投資にかかる受益権の取得の申し込みをしないことをあらかじめ申し出た場合において、委託者が当該申し出を受け付けた受益権にかかる収益分配金を除きます。）をこの信託の受益権の取得申込金として、各受益者ごとに当該収益分配金の再投資にかかる受益権の取得の申し込みに応じたものとします。当該取得申込により増加した受益権は、約款第10条第3項の規定にしたがい、振替口座簿に記載または記録されます。

- ⑤ 上記③および④に基づいて収益分配金を再投資する場合の受益権の価額は、原則として各計算期間終了日の基準価額とします。
- ⑥ 受益者が、収益分配金について支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託者から交付を受けた金銭は委託者に帰属します。

（ロ）償還金に対する請求権

受益者は、持分に応じて償還金を請求する権利を有します。

- ① 償還金（信託終了時における投資信託財産の純資産総額を受益権総口数で除した額をいいます。以下同じ。）は、信託終了日後1ヵ月以内の委託者の指定する日（原則として償還日（休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日）までに、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としてします。）に支払いを開始するものとします。なお、当該受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託者がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。
- ② 償還金の支払い[※]は、販売会社の営業所等において行うものとします。
- ③ 受益者が、信託終了による償還金について、支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託者より交付を受けた金銭は委託者に帰属します。

（ハ）買戻し（一部解約）請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託者に販売会社が個別に定める単位をもって一部解約の実行を請求することができます。（注）

（注）金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた一部解約の実行の請求を取り消す場合があります。

- ① 一部解約金は、約款第45条第1項の受益者の請求を受け付けた日から起算して、原則として、5営業日目から当該受益者に支払います。
- ② 一部解約金の支払い[※]は、販売会社の営業所等において行うものとします。

（二）反対受益者の受益権買取請求の不適用（約款第52条）

この信託は、受益者が約款第45条の規定による一部解約の実行の請求を行ったときは、委託者が信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、約款第46条に規定する信託契約の解約または前条（約款51条）に規定する重大な約款の変更等を行う場合において、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。

（ホ）投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧又は謄写請求権（投資信託及び投資法人に関する法律第15条第2項）

受益者は委託者に対し、その営業時間内に当該受益者に係る投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧又は謄写を請求することができます。

※ 受託者は、収益分配金については原則として毎計算期間終了日の翌営業日に、償還金については約款第42条第2項に規定する支払開始日までに、一部解約金については約款第42条第3項に規定する支払日までに、その全額を委託者の指定する預金口座等に払い込みます。受託者は、委託者の指定する預金口座等に収益分配金、償還金および一部解約金を払い込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。（収益分配金、償還金および一部解約金の払い込みと支払いに関する受託者の免責（約款第41条））

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第4期計算期間（2022年12月13日から2023年12月11日まで）の財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人による監査を受けております。

1 【財務諸表】

【N Z A M ・ ベー タ 米 国 2 資 産（株 式 + R E I T）】

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第3期 2022年12月12日現在	第4期 2023年12月11日現在
資産の部		
流動資産		
金銭信託	249,726	-
コール・ローン	299,250	496,294
親投資信託受益証券	343,148,608	720,368,908
未収入金	759,800	2,545,800
流動資産合計	344,457,384	723,411,002
資産合計	344,457,384	723,411,002
負債の部		
流動負債		
未払金	567,600	-
未払解約金	1,373	797,673
未払受託者報酬	43,054	107,448
未払委託者報酬	487,875	1,217,660
その他未払費用	6,928	17,733
流動負債合計	1,106,830	2,140,514
負債合計	1,106,830	2,140,514
純資産の部		
元本等		
元本	254,979,272	456,931,286
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	88,371,282	264,339,202
（分配準備積立金）	10,918,208	86,757,009
元本等合計	343,350,554	721,270,488
純資産合計	343,350,554	721,270,488
負債純資産合計	344,457,384	723,411,002

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第3期 自 2021年12月14日 至 2022年12月12日	第4期 自 2022年12月13日 至 2023年12月11日
営業収益		
受取利息	1	6
有価証券売買等損益	△6,833,326	95,922,000
営業収益合計	△6,833,325	95,922,006
営業費用		
支払利息	162	259
受託者報酬	70,207	178,554
委託者報酬	795,610	2,023,512
その他費用	6,931	17,753
営業費用合計	872,910	2,220,078
営業利益又は営業損失（△）	△7,706,235	93,701,928
経常利益又は経常損失（△）	△7,706,235	93,701,928
当期純利益又は当期純損失（△）	△7,706,235	93,701,928
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	724,711	5,519,215
期首剰余金又は期首欠損金（△）	33,408,367	88,371,282
剰余金増加額又は欠損金減少額	97,910,223	108,070,646
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	97,910,223	108,070,646
剰余金減少額又は欠損金増加額	34,516,362	20,285,439
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	34,516,362	20,285,439
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（△）	88,371,282	264,339,202

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2.収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3.その他	前計算期間末に該当する日が休業日のため、当計算期間は2022年12月13日から2023年12月11日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

第3期 (2022年12月12日現在)	第4期 (2023年12月11日現在)
当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当計算期間の翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

（貸借対照表に関する注記）

項目	第3期 2022年12月12日現在	第4期 2023年12月11日現在
1. 投資信託財産に係る元本の状況		
期首元本額	96,366,933円	254,979,272円
期中追加設定元本額	252,903,414円	259,050,270円
期中一部解約元本額	94,291,075円	57,098,256円
2. 計算期間の末日における受益権の総数	254,979,272口	456,931,286口
3. 一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	1.3466円 (13,466円)	1.5785円 (15,785円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	第3期 自 2021年12月14日 至 2022年12月12日	第4期 自 2022年12月13日 至 2023年12月11日
分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後の配当等収益（4,145,090円）、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定される収益調整金（77,453,074円）及び分配準備積立金（6,773,118円）より、分配対象収益は88,371,282円（一万口当たり3,465.82円）であります。基準価額水準、市況動向等を勘案し分配は行っておりません。	計算期間末における費用控除後の配当等収益（14,104,784円）、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（63,262,736円）、信託約款に規定される収益調整金（177,582,193円）及び分配準備積立金（9,389,489円）より、分配対象収益は264,339,202円（一万口当たり5,785.10円）であります。基準価額水準、市況動向等を勘案し分配は行っておりません。

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

項目	第3期 自 2021年12月14日 至 2022年12月12日	第4期 自 2022年12月13日 至 2023年12月11日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権等であります。当ファンドが保有する有価証券は、全て売買目的で保有しており、これらの詳細は、「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。当該金融商品は、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、価格変動リスク等に晒されています。	同左
3. 金融商品に係るリスクの管理体制	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用（あるいはポジション組成）となっているか管理を行っております。ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、運用管理会議を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用（あるいはポジション組成）となっているか管理を行っております。ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、コンプライアンス委員会を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。

Ⅱ 金融商品の時価等に関する事項

項目	第3期 2022年12月12日現在	第4期 2023年12月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	親投資信託受益証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

第3期(自 2021年12月14日 至 2022年12月12日)

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	△6,745,224
合計	△6,745,224

第4期(自 2022年12月13日 至 2023年12月11日)

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	83,805,226
合計	83,805,226

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表

①株式

該当事項はありません。

②株式以外の有価証券

（単位：円）

種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受 益証券	S & P 5 0 0 インデックス・マザーファン ド	150,787,049	361,511,949	
	S&P米国REITインデックス・マザーファンド	192,830,177	358,856,959	
合計		343,617,226	720,368,908	

(注1)券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

第２ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考情報）

当ファンドは、「S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド」受益証券及び「S&P米国REITインデックス・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

	2022年12月12日現在	2023年12月11日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	1,185,706,012	853,512,700
金銭信託	73,079,818	-
コール・ローン	87,572,275	126,502,125
株式	24,420,960,581	50,027,315,045
投資証券	660,765,918	1,179,155,855
派生商品評価勘定	-	8,820,978
未収入金	567,600	-
未収配当金	27,820,834	63,501,965
差入委託証拠金	187,310,127	353,040,762
流動資産合計	26,643,783,165	52,611,849,430
資産合計	26,643,783,165	52,611,849,430
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	11,207,594	9,088
未払金	814,769,460	-
未払解約金	14,359,454	59,956,597
未払利息	224	34
その他未払費用	4,229	-
流動負債合計	840,340,961	59,965,719
負債合計	840,340,961	59,965,719
純資産の部		
元本等		
元本	13,574,101,398	21,919,670,882
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	12,229,340,806	30,632,212,829
元本等合計	25,803,442,204	52,551,883,711
純資産合計	25,803,442,204	52,551,883,711
負債純資産合計	26,643,783,165	52,611,849,430

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	株式、投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として計算期間末日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4.収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。
5.その他	外貨建取引等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

(2022年12月12日現在)	(2023年12月11日現在)
本書における開示対象ファンドの当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが本書における開示対象ファンドの当計算期間の翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

（貸借対照表に関する注記）

項目		2022年12月12日現在	2023年12月11日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	本書における開示対象ファンドの期首	2021年12月14日	2022年12月13日
	同期首元本額	6,962,687,926円	13,574,101,398円
	同期中追加設定元本額	7,956,758,794円	11,666,385,446円
	同期中一部解約元本額	1,345,345,322円	3,320,815,962円
	元本の内訳		
	農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	4,727,529,356円	7,521,793,492円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	293,710,691円	254,412,986円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	2,070,445,946円	2,191,316,834円
	農林中金＜パートナーズ＞米国株式S&P500インデックスファンド	6,256,998,477円	9,549,715,781円
	NZAM・ベータ S & P 5 0 0	135,356,455円	754,539,982円
	NZAM・ベータ 米国2資産（株式+REIT）	90,060,473円	150,787,049円
	NZAM 上場投信 S&P500（為替ヘッジあり）	－円	1,497,104,758円
	合計	13,574,101,398円	21,919,670,882円
2.	本書における開示対象ファンドの計算期間の末日における受益権の総数	13,574,101,398口	21,919,670,882口
3.	一口当たり純資産額 （一万口当たり純資産額）	1.9009円 (19,009円)	2.3975円 (23,975円)

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

項目	自 2021年12月14日 至 2022年12月12日	自 2022年12月13日 至 2023年12月11日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権等であります。 当ファンドが保有する有価証券は、全て売買目的で保有しており、デリバティブ取引は、ヘッジ目的以外にも利用する場合があります。また、これらの詳細は、「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）有価証券の評価基準及び評価方法、デリバティブ等の評価基準及び評価方法」に記載しております。 当該金融商品は、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、価格変動リスク等に晒されています。	同左
3. 金融商品に係るリスクの管理体制	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用（あるいはポジション組成）となっているか管理を行っております。 ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、運用管理会議を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用（あるいはポジション組成）となっているか管理を行っております。 ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、コンプライアンス委員会を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。

II 金融商品の時価等に関する事項

項目	2022年12月12日現在	2023年12月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	株式 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 投資証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 先物取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 為替予約取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

（自 2021年12月14日 至 2022年12月12日）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	△151,612,265
投資証券	8,715,233
合計	△142,897,033

（自 2022年12月13日 至 2023年12月11日）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	1,114,545,172
投資証券	58,135,174
合計	1,172,680,346

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(株式関連)

(2022年12月12日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	710,888,737	—	699,818,015	△11,070,722
合計		710,888,737	—	699,818,015	△11,070,722

(2023年12月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	1,331,598,645	—	1,339,861,000	8,262,355
合計		1,331,598,645	—	1,339,861,000	8,262,355

(注) 時価の算定方法

- 1.先物取引の時価評価については、原則として計算日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。
- 2.先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 3.契約額等には手数料相当額は含んでおりません。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

(通貨関連)

(2022年12月12日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 米ドル	126,000,000	—	125,863,128	△136,872
合計		126,000,000	—	125,863,128	△136,872

(2023年12月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 米ドル	35,500,000	—	36,049,535	549,535
合計		35,500,000	—	36,049,535	549,535

(注) 時価の算定方法

- 対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
 - ① 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該仲値で評価しております。
 - ② 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
 - ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち受渡日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
 - ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合には、発表されているもので為替予約の受渡日に最も近い先物相場の仲値で評価しております。
- 対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。
- 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

①株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
米ドル	3M CO	5,033	103.37	520,261.21	
	ABBOTT LABORATORIES	15,824	104.51	1,653,766.24	
	ABBVIE INC	16,095	149.28	2,402,661.60	
	ACCENTURE PLC-CL A	5,752	337.23	1,939,746.96	
	ADOBE INC	4,156	610.01	2,535,201.56	
	ADVANCED MICRO DEVICES	14,733	128.92	1,899,378.36	
	AES CORP	6,106	18.22	111,251.32	
	AFLAC INC	4,929	82.55	406,888.95	
	AGILENT TECHNOLOGIES INC	2,693	127.20	342,549.60	
	AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	2,026	263.27	533,385.02	
	AIRBNB INC-CLASS A	3,888	140.68	546,963.84	
	AKAMAI TECHNOLOGIES INC	1,386	114.41	158,572.26	
	ALASKA AIR GROUP INC	1,160	35.61	41,307.60	
	ALBEMARLE CORP	1,070	127.99	136,949.30	
	ALIGN TECHNOLOGY INC	649	221.23	143,578.27	
	ALLEGION PLC	800	110.34	88,272.00	
	ALLIANT ENERGY CORP	2,304	51.38	118,379.52	
	ALLSTATE CORP	2,385	139.32	332,278.20	
	ALPHABET INC-CL A	54,100	134.99	7,302,959.00	
	ALPHABET INC-CL C	46,020	136.64	6,288,172.80	
	ALTRIA GROUP INC	16,182	41.30	668,316.60	
	AMAZON.COM INC	82,793	147.42	12,205,344.06	
	AMCOR PLC	13,417	9.65	129,474.05	
	AMEREN CORPORATION	2,396	78.02	186,935.92	
	AMERICAN AIRLINES GROUP INC	5,958	13.76	81,982.08	
	AMERICAN ELECTRIC POWER	4,698	79.64	374,148.72	
	AMERICAN EXPRESS CO	5,305	168.43	893,521.15	
	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	6,492	65.53	425,420.76	
	AMERICAN WATER WORKS CO INC	1,775	131.35	233,146.25	
	AMERIPRISE FINANCIAL INC	936	357.58	334,694.88	
	AMETEK INC	2,104	157.16	330,664.64	
	AMGEN INC	4,878	269.12	1,312,767.36	
	AMPHENOL CORP-CL A	5,439	93.23	507,077.97	
	ANALOG DEVICES INC	4,572	184.88	845,271.36	
	ANSYS INC	791	287.20	227,175.20	
	AON PLC	1,850	324.10	599,585.00	

APA CORP	2,802	34.47	96,584.94
APPLE INC	134,008	195.71	26,226,705.68
APPLIED MATERIALS INC	7,657	147.72	1,131,092.04
APTIV PLC	2,579	79.83	205,881.57
ARCH CAPITAL GROUP	3,401	79.30	269,699.30
ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	4,888	73.75	360,490.00
ARISTA NETWORKS INC	2,287	224.03	512,356.61
ARTHUR J GALLAGHER & CO	1,965	240.96	473,486.40
ASSURANT INC	483	167.68	80,989.44
AT&T INC	65,189	16.92	1,102,997.88
ATMOS ENERGY CORP	1,354	113.46	153,624.84
AUTODESK INC	1,949	224.01	436,595.49
AUTOMATIC DATA PROCESSING	3,757	229.27	861,367.39
AUTOZONE INC	166	2,620.49	435,001.34
AVERY DENNISON CORP	735	191.71	140,906.85
AXON ENTERPRISE INC	641	236.38	151,519.58
BAKER HUGHES CO	9,207	32.24	296,833.68
BALL CORP	2,873	57.51	165,226.23
BANK OF AMERICA CORP	63,040	30.96	1,951,718.40
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	7,101	49.06	348,375.06
BATH & BODY WORKS INC	2,087	37.57	78,408.59
BAXTER INTERNATIONAL INC	4,618	36.15	166,940.70
BECTON DICKINSON & CO	2,645	232.30	614,433.50
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	16,629	353.08	5,871,367.32
BEST BUY CO INC	1,771	73.99	131,036.29
BIOGEN INC	1,321	239.29	316,102.09
BIO-RAD LABORATORIES-A	190	304.13	57,784.70
BIO-TECHNE CORP	1,436	68.31	98,093.16
BLACKROCK INC	1,280	744.73	953,254.40
BLACKSTONE INC	6,472	112.57	728,553.04
BOEING CO	5,170	244.70	1,265,099.00
BOOKING HOLDINGS INC	325	3,275.00	1,064,375.00
BORGWARNER INC	2,143	32.90	70,504.70
BOSTON SCIENTIFIC CORP	13,352	54.95	733,692.40
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	19,050	50.31	958,405.50
BROADCOM INC	4,002	944.30	3,779,088.60
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS	1,077	191.36	206,094.72
BROWN & BROWN INC	2,146	74.15	159,125.90
BROWN-FORMAN CORP-CLASS B	1,668	55.08	91,873.44
BUNGE GLOBAL SA	1,374	104.50	143,583.00

C.H. ROBINSON WORLDWIDE INC	1,062	84.50	89,739.00
CADENCE DESIGN SYS INC	2,478	259.93	644,106.54
CAESARS ENTERTAINMENT INC	1,963	44.19	86,744.97
CAMPBELL SOUP CO	1,794	42.91	76,980.54
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	3,478	118.09	410,717.02
CARDINAL HEALTH INC	2,322	106.83	248,059.26
CARMAX INC	1,443	67.22	96,998.46
CARNIVAL CORP	9,185	18.11	166,340.35
CARRIER GLOBAL CORP	7,638	55.27	422,152.26
CATALENT INC	1,644	37.18	61,123.92
CATERPILLAR INC	4,652	259.50	1,207,194.00
CBOE GLOBAL MARKETS INC	962	178.72	171,928.64
CBRE GROUP INC-A	2,825	82.69	233,599.25
CDW CORP/DE	1,222	213.19	260,518.18
CELANESE CORP-SERIES A	913	141.35	129,052.55
CENCORA INC	1,520	201.75	306,660.00
CENTENE CORP	4,938	73.77	364,276.26
CENTERPOINT ENERGY INC	5,755	28.77	165,571.35
CERIDIAN HCM HOLDING INC	1,419	67.17	95,314.23
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	1,759	76.56	134,669.04
CHARLES RIVER LABORATORIES	468	204.46	95,687.28
CHARTER COMMUNICATIONS-A	928	367.55	341,086.40
CHEVRON CORP	16,179	144.31	2,334,791.49
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	252	2,242.95	565,223.40
CHUBB LTD	3,745	222.91	834,797.95
CHURCH & DWIGHT CO INC	2,244	92.94	208,557.36
CINCINNATI FINANCIAL CORP	1,430	102.80	147,004.00
CINTAS CORP	789	553.33	436,577.37
CISCO SYSTEMS INC	37,159	48.38	1,797,752.42
CITIGROUP INC	17,560	48.89	858,508.40
CITIZENS FINANCIAL GROUP	4,307	29.61	127,530.27
CLOROX COMPANY	1,129	141.55	159,809.95
CME GROUP INC	3,280	211.62	694,113.60
CMS ENERGY CORP	2,660	58.15	154,679.00
COCA-COLA COMPANY	35,489	58.61	2,080,010.29
COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	4,605	70.33	323,869.65
COLGATE-PALMOLIVE CO	7,538	77.17	581,707.46
COMCAST CORP-CL A	37,529	42.10	1,579,970.90
COMERICA INC	1,202	49.97	60,063.94
CONAGRA BRANDS INC	4,357	29.52	128,618.64

CONOCO PHILLIPS	10,919	112.07	1,223,692.33
CONSOLIDATED EDISON INC	3,145	91.55	287,924.75
CONSTELLATION BRANDS INC-A	1,471	234.44	344,861.24
CONSTELLATION ENERGY GROUP	2,932	111.21	326,067.72
COOPER COS INC/THE	451	335.00	151,085.00
COPART INC	7,923	47.39	375,470.97
CORNING INC	7,000	29.11	203,770.00
CORTEVA INC	6,472	45.15	292,210.80
COSTAR GROUP INC	3,723	82.39	306,737.97
COSTCO WHOLESALE CORP	4,041	610.78	2,468,161.98
COTERRA ENERGY INC	6,907	24.70	170,602.90
CSX CORP	18,295	32.96	603,003.20
CUMMINS INC	1,292	230.58	297,909.36
CVS HEALTH CORP	11,712	75.10	879,571.20
DANAHER CORP	5,992	217.49	1,303,200.08
DARDEN RESTAURANTS INC	1,102	158.95	175,162.90
DAVITA INC	491	107.58	52,821.78
DEERE & CO	2,486	363.67	904,083.62
DELTA AIR LINES INC	5,867	40.35	236,733.45
DENTSPLY SIRONA INC	1,931	31.88	61,560.28
DEVON ENERGY CORP	5,842	44.09	257,573.78
DEXCOM INC	3,537	116.97	413,722.89
DIAMONDBACK ENERGY INC	1,631	148.73	242,578.63
DISCOVER FINANCIAL SERVICES	2,279	103.30	235,420.70
DOLLAR GENERAL CORP	2,000	127.22	254,440.00
DOLLAR TREE INC	1,909	124.41	237,498.69
DOMINION ENERGY INC	7,630	47.49	362,348.70
DOMINO'S PIZZA INC	320	394.90	126,368.00
DOVER CORP	1,275	143.62	183,115.50
DOW INC	6,411	50.92	326,448.12
DR HORTON INC	2,776	138.46	384,364.96
DTE ENERGY COMPANY	1,880	108.61	204,186.80
DUKE ENERGY CORPORATION	7,028	94.39	663,372.92
DUPONT DE NEMOURS INC	4,186	70.89	296,745.54
EASTMAN CHEMICAL COMPANY	1,081	84.85	91,722.85
EATON CORP PLC	3,638	232.31	845,143.78
EBAY INC	4,853	41.29	200,380.37
ECOLAB INC	2,313	192.12	444,373.56
EDISON INTERNATIONAL	3,495	67.45	235,737.75
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	5,543	69.18	383,464.74

ELECTRONIC ARTS INC	2,248	137.14	308,290.72	
ELEVANCE HEALTH INC	2,149	477.97	1,027,157.53	
ELI LILLY & CO	7,271	598.05	4,348,421.55	
EMERSON ELECTRIC CO	5,211	89.55	466,645.05	
ENPHASE ENERGY INC	1,243	103.01	128,041.43	
ENTERGY CORP	1,928	102.01	196,675.28	
EOG RESOURCES INC	5,309	118.96	631,558.64	
EPAM SYSTEMS INC	529	268.50	142,036.50	
EQT CORP	3,298	37.13	122,454.74	
EQUIFAX INC	1,119	228.38	255,557.22	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	2,114	133.73	282,705.22	
ETSY INC	1,122	80.08	89,849.76	
EVEREST GROUP LTD	396	384.78	152,372.88	
EVERGY INC	2,095	51.56	108,018.20	
EVERSOURCE ENERGY	3,183	59.65	189,865.95	
EXELON CORP	9,075	39.21	355,830.75	
EXPEDIA GROUP INC	1,257	145.50	182,893.50	
EXPEDITORS INTL WASH INC	1,349	120.37	162,379.13	
EXXON MOBIL CORPORATION	36,893	99.55	3,672,698.15	
F5 INC	541	170.82	92,413.62	
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	348	443.89	154,473.72	
FAIR ISAAC CORP	227	1,134.39	257,506.53	
FASTENAL CO	5,210	62.29	324,530.90	
FEDEX CORP	2,110	272.21	574,363.10	
FIDELITY NATIONAL INFORMATION SERVICES	5,402	58.94	318,393.88	
FIFTH THIRD BANCORP	6,209	31.25	194,031.25	
FIRST SOLAR INC	974	145.38	141,600.12	
FIRSTENERGY CORP	4,705	37.08	174,461.40	
FISERV INC	5,559	132.36	735,789.24	
FLEETCOR TECHNOLOGIES INC	674	256.09	172,604.66	
FMC CORP	1,137	55.88	63,535.56	
FORD MOTOR COMPANY	35,848	11.01	394,686.48	
FORTINET INC	5,944	52.16	310,039.04	
FORTIVE CORP	3,210	68.89	221,136.90	
FOX CORP CLASS A	2,313	29.94	69,251.22	
FOX CORP CLASS B	1,203	28.01	33,696.03	
FRANKLIN RESOURCES INC	2,593	25.57	66,303.01	
FREEPORT-MCMORAN INC	13,073	38.15	498,734.95	
GARMIN LTD	1,397	124.59	174,052.23	
GARTNER INC	719	452.00	324,988.00	

GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	3,567	68.52	244,410.84
GEN DIGITAL INC	5,131	22.15	113,651.65
GENERAC HOLDINGS INC	568	121.55	69,040.40
GENERAL DYNAMICS CORP	2,067	252.29	521,483.43
GENERAL ELECTRIC CO	9,924	120.59	1,196,735.16
GENERAL MILLS INC	5,336	65.47	349,347.92
GENERAL MOTORS CO	12,546	33.75	423,427.50
GENUINE PARTS CO	1,281	132.98	170,347.38
GILEAD SCIENCES INC	11,362	79.02	897,825.24
GLOBAL PAYMENTS INC	2,371	120.16	284,899.36
GLOBE LIFE INC	793	122.36	97,031.48
GOLDMAN SACHS GROUP INC	3,006	350.83	1,054,594.98
HALLIBURTON CO	8,193	34.93	286,181.49
HARTFORD FINANCIAL	2,789	78.28	218,322.92
HASBRO INC	1,189	48.70	57,904.30
HCA HEALTHCARE INC	1,835	257.53	472,567.55
HENRY SCHEIN INC	1,191	71.91	85,644.81
HERSHEY CO/THE	1,366	185.74	253,720.84
HESS CORP	2,520	134.50	338,940.00
HEWLETT PACKARD ENTERPRISE	11,777	16.22	191,022.94
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS INC	2,385	171.33	408,622.05
HOLOGIC INC	2,234	68.37	152,738.58
HOME DEPOT INC	9,168	326.47	2,993,076.96
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	6,054	194.61	1,178,168.94
HORMEL FOODS CORP	2,640	31.38	82,843.20
HOWMET AEROSPACE INC	3,571	53.26	190,191.46
HP INC	7,912	29.46	233,087.52
HUBBELL INC	489	308.17	150,695.13
HUMANA INC	1,130	481.62	544,230.60
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	744	186.62	138,845.28
HUNTINGTON BANCSHARES INC	13,203	11.99	158,303.97
HUNTINGTON INGALLS INDUSTRIES	364	246.89	89,867.96
IDEX CORP	689	204.84	141,134.76
IDEXX LABORATORIES INC	757	531.35	402,231.95
ILLINOIS TOOL WORKS	2,509	249.61	626,271.49
ILLUMINA INC	1,443	112.94	162,972.42
INCYTE CORP	1,696	54.70	92,771.20
INGERSOLL-RAND INC	3,688	73.31	270,367.28
INSULET CORP	637	194.66	123,998.42

INTEL CORP	38,189	42.70	1,630,670.30
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	5,219	113.34	591,521.46
INTERNATIONAL PAPER CO	3,155	36.84	116,230.20
INTERPUBLIC GROUP OF COS INC	3,510	31.22	109,582.20
INTL BUSINESS MACHINES CORP	8,307	161.96	1,345,401.72
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	2,328	76.82	178,836.96
INTUIT INC	2,554	573.90	1,465,740.60
INTUITIVE SURGICAL INC	3,204	310.42	994,585.68
INVESCO LIMITED	4,091	15.21	62,224.11
IQVIA HOLDINGS INC	1,670	215.28	359,517.60
JACK HENRY & ASSOCIATES INC	665	164.69	109,518.85
JACOBS SOLUTIONS INC	1,148	127.29	146,128.92
JM SMUCKER CO/THE	967	119.33	115,392.11
JOHNSON & JOHNSON	21,958	154.42	3,390,754.36
JOHNSON CONTROLS INTERNATIONAL	6,204	56.08	347,920.32
JP MORGAN CHASE & CO	26,499	158.52	4,200,621.48
JUNIPER NETWORKS INC	2,930	28.99	84,940.70
KELLANOVA	2,404	53.70	129,094.80
KENVUE INC	15,715	20.61	323,886.15
KEURIG DR PEPPER INC	9,174	32.11	294,577.14
KEYCORP	8,534	13.26	113,160.84
KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC	1,626	144.33	234,680.58
KIMBERLY-CLARK CORP	3,084	119.94	369,894.96
KINDER MORGAN INC	17,676	17.70	312,865.20
KLA CORPORATION	1,247	534.43	666,434.21
KRAFT HEINZ CO/THE	7,280	36.23	263,754.40
KROGER CO	6,021	44.58	268,416.18
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	1,725	195.81	337,772.25
LABORATORY CRP OF AMER HLDGS	808	216.60	175,012.80
LAM RESEARCH CORP	1,215	703.17	854,351.55
LAMB WESTON HOLDINGS INC	1,329	100.96	134,175.84
LAS VEGAS SANDS CORP	3,366	46.39	156,148.74
LEIDOS HOLDINGS INC	1,252	108.49	135,829.48
LENNAR CORP CL-A	2,303	139.58	321,452.74
LIVE NATION ENTERTAINMENT INC	1,293	85.19	110,150.67
LKQ CORP	2,440	45.40	110,776.00
LOCKHEED MARTIN CORP	2,044	448.02	915,752.88
LOEWS CORP	1,686	68.84	116,064.24

LOWE'S COS INC	5,343	207.83	1,110,435.69
LULULEMON ATHLETICA INC	1,054	489.64	516,080.56
LYONDELLBASELL INDU-CL A	2,335	92.58	216,174.30
M & T BANK CORP	1,513	132.65	200,699.45
MARATHON OIL CORP	5,523	24.09	133,049.07
MARATHON PETROLEUM CORP	3,646	143.02	521,450.92
MARKETAXESS HOLDINGS INC	344	261.68	90,017.92
MARRIOTT INTL-CL A	2,284	209.40	478,269.60
MARSH & MCLENNAN COS	4,504	195.67	881,297.68
MARTIN MARIETTA MATERIALS	564	469.39	264,735.96
MASCO CORP	2,051	64.00	131,264.00
MASTERCARD INCORPORATED	7,587	412.16	3,127,057.92
MATCH GROUP INC	2,536	32.10	81,405.60
MCCORMICK & COMPANY	2,290	67.09	153,636.10
MCDONALD'S CORPORATION	6,645	285.53	1,897,346.85
MCKESSON CORP	1,230	457.89	563,204.70
MEDTRONIC PLC	12,138	79.35	963,150.30
MERCK & CO. INC.	23,139	103.75	2,400,671.25
META PLATFORMS INC	20,267	332.75	6,743,844.25
METLIFE INC	5,760	64.09	369,158.40
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL	199	1,090.52	217,013.48
MGM RESORTS INTERNATIONAL	2,560	41.42	106,035.20
MICROCHIP TECHNOLOGY	4,964	86.08	427,301.12
MICRON TECHNOLOGY INC	9,988	74.96	748,700.48
MICROSOFT CORP	67,749	374.23	25,353,708.27
MODERNA INC	3,019	80.32	242,486.08
MOHAWK INDUSTRIES INC	482	92.30	44,488.60
MOLINA HEALTHCARE INC	532	367.72	195,627.04
MOLSON COORS BEVERAGE CO-B	1,693	62.31	105,490.83
MONDELEZ INTERNATIONAL INC	12,405	71.09	881,871.45
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	436	575.73	251,018.28
MONSTER BEVERAGE CORP	6,782	53.92	365,685.44
MOODY'S CORP	1,439	374.61	539,063.79
MORGAN STANLEY	11,634	82.28	957,245.52
MOSAIC CO/THE	3,030	35.68	108,110.40
MOTOROLA SOLUTIONS INC	1,523	324.52	494,243.96
MSCI INC	721	506.68	365,316.28
NASDAQ INC	3,091	53.97	166,821.27
NETAPP INC	1,922	89.39	171,807.58
NETFLIX INC	4,041	453.76	1,833,644.16

NEW LINDE PLC	4,449	401.27	1,785,250.23
NEWMONT CORP	10,508	39.08	410,652.64
NEWS CORP - CLASS A	3,474	21.94	76,219.56
NEWS CORP - CLASS B	1,053	22.94	24,155.82
NEXTERA ENERGY INC	18,453	59.70	1,101,644.10
NIKE INC -CL B	11,171	115.91	1,294,830.61
NISOURCE INC	3,768	26.30	99,098.40
NORDSON CORP	494	239.16	118,145.04
NORFOLK SOUTHERN CORP	2,070	221.00	457,470.00
NORTHERN TRUST CORP	1,888	80.39	151,776.32
NORTHROP GRUMMAN CORP	1,297	476.25	617,696.25
NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDINGS LTD.	3,879	18.68	72,459.72
NRG ENERGY INC	2,089	47.81	99,875.09
NUCOR CORP	2,268	162.09	367,620.12
NVIDIA CORP	22,523	475.06	10,699,776.38
NVR INC	30	6,535.89	196,076.70
NXP SEMICONDUCTORS NV	2,351	215.55	506,758.05
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	6,050	56.47	341,643.50
OLD DOMINION FREIGHT LINE	817	369.45	301,840.65
OMNICOM GROUP	1,802	81.94	147,655.88
ON SEMICONDUCTOR CORP	3,935	76.14	299,610.90
ONEOK INC	5,311	68.24	362,422.64
ORACLE CORP	14,355	113.61	1,630,871.55
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	551	945.88	521,179.88
OTIS WORLDWIDE CORP	3,755	87.50	328,562.50
PACCAR INC	4,767	95.38	454,676.46
PACKAGING CORP OF AMERICA	820	163.88	134,381.60
PALO ALTO NETWORKS INC	2,789	298.42	832,293.38
PARAMOUNT GLOBAL-CLASS B	4,397	16.85	74,089.45
PARKER HANNIFIN CORP	1,170	438.63	513,197.10
PAYCHEX INC	2,926	124.02	362,882.52
PAYCOM SOFTWARE INC	449	186.57	83,769.93
PAYPAL HOLDINGS INC	10,013	58.94	590,166.22
PENTAIR PLC	1,506	67.41	101,519.46
PEPSICO INC	12,552	165.68	2,079,615.36
PFIZER INC	51,483	28.78	1,481,680.74
PG&E CORPORATION	19,069	17.61	335,805.09
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	14,155	91.31	1,292,493.05
PHILLIPS 66	4,060	125.32	508,799.20
PINNACLE WEST CAPITAL	1,033	75.30	77,784.90

PIONEER NATURAL RESOURCES CO	2,126	223.05	474,204.30
PNC FINANCIAL SERVICES GROUP	3,632	140.67	510,913.44
POOL CORP	356	354.12	126,066.72
PPG INDUSTRIES INC	2,148	143.98	309,269.04
PPL CORPORATION	6,721	26.06	175,149.26
PRINCIPAL FINANCIAL GROUP	2,028	75.15	152,404.20
PROCTER & GAMBLE CO	21,495	145.15	3,119,999.25
PROGRESSIVE CORP	5,337	161.17	860,164.29
PRUDENTIAL FINANCIAL INC	3,310	100.87	333,879.70
PTC INC	1,084	166.61	180,605.24
PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GP	4,551	62.57	284,756.07
PULTEGROUP INC	2,001	96.31	192,716.31
QORVO INC	893	103.97	92,845.21
QUALCOMM INC	10,176	132.97	1,353,102.72
QUANTA SERVICES INC	1,324	199.25	263,807.00
QUEST DIAGNOSTICS INC	1,023	135.91	139,035.93
RALPH LAUREN CORP	368	131.76	48,487.68
RAYMOND JAMES FINANCIAL INC	1,714	107.05	183,483.70
REGENERON PHARMACEUTICALS, INC.	973	840.14	817,456.22
REGIONS FINANCIAL CORP	8,557	17.44	149,234.08
REPUBLIC SERVICES INC	1,875	161.79	303,356.25
RESMED INC	1,340	162.87	218,245.80
REVVITY INC	1,132	91.02	103,034.64
ROBERT HALF INC	976	83.09	81,095.84
ROCKWELL AUTOMATION INC	1,047	278.53	291,620.91
ROLLINS INC	2,560	41.43	106,060.80
ROPER TECHNOLOGIES INC	973	536.60	522,111.80
ROSS STORES INC	3,106	132.08	410,240.48
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	2,149	120.47	258,890.03
RTX CORPORATION	13,272	81.32	1,079,279.04
S&P GLOBAL INC	2,967	415.38	1,232,432.46
SALESFORCE INC	8,881	250.81	2,227,443.61
SCHLUMBERGER LTD	12,959	48.80	632,399.20
SCHWAB (CHARLES) CORP	13,559	64.07	868,725.13
SEAGATE TECHNOLOGY HOLDINGS	1,759	80.59	141,757.81
SEALED AIR CORP	1,317	33.81	44,527.77
SEMPRA	5,738	72.38	415,316.44
SERVICENOW INC	1,860	699.08	1,300,288.80
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	2,157	289.82	625,141.74
SKYWORKS SOLUTIONS INC	1,453	103.78	150,792.34

SMITH (A.O.)CORP	1,136	77.99	88,596.64
SNAP-ON INC	483	278.22	134,380.26
SOLAREDGE TECHNOLOGIES INC	516	78.40	40,454.40
SOUTHERN CO	9,944	71.50	710,996.00
SOUTHWEST AIRLINES CO	5,431	29.07	157,879.17
STANLEY BLACK & DECKER INC	1,397	92.85	129,711.45
STARBUCKS CORP	10,444	96.61	1,008,994.84
STATE STREET CORP	2,906	73.97	214,956.82
STEEL DYNAMICS INC	1,420	113.16	160,687.20
STERIS PLC	900	200.50	180,450.00
STRYKER CORP	3,082	289.10	891,006.20
SYNCHRONY FINANCIAL	3,813	35.29	134,560.77
SYNOPSYS INC	1,387	535.93	743,334.91
SYSCO CORPORATION	4,606	73.83	340,060.98
T ROWE PRICE GROUP	2,045	98.44	201,309.80
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	1,440	155.32	223,660.80
TAPESTRY INC	2,114	33.53	70,882.42
TARGA RESOURCES CORP	2,040	86.56	176,582.40
TARGET CORP	4,209	135.19	569,014.71
TE CONNECTIVITY LTD	2,863	133.32	381,695.16
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	429	411.49	176,529.21
TELEFLEX INC	428	231.08	98,902.24
TERADYNE INC	1,404	92.29	129,575.16
TESLA INC	25,180	243.84	6,139,891.20
TEXAS INSTRUMENTS INC	8,279	157.03	1,300,051.37
TEXTRON INC	1,806	75.93	137,129.58
THE CIGNA GROUP	2,699	258.80	698,501.20
THE WALT DISNEY CO.	16,685	92.82	1,548,701.70
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	3,519	489.77	1,723,500.63
TJX COMPANIES INC	10,479	89.13	933,993.27
T-MOBILE US INC	4,720	156.40	738,208.00
TRACTOR SUPPLY COMPANY	992	212.07	210,373.44
TRANE TECHNOLOGIES PLC	2,083	234.00	487,422.00
TRANSDIGM GROUP INC	503	983.92	494,911.76
TRAVELERS COS INC/THE	2,088	181.26	378,470.88
TRIMBLE INC	2,264	46.90	106,181.60
TRUIST FINANCIAL CORP	12,146	34.33	416,972.18
TYLER TECHNOLOGIES INC	384	403.07	154,778.88
TYSON FOODS INC-CL A	2,604	51.38	133,793.52
ULTA BEAUTY INC	454	482.16	218,900.64

UNION PACIFIC CORP	5,557	229.77	1,276,831.89
UNITED AIRLINES HOLDINGS INC	2,991	40.97	122,541.27
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	6,595	156.30	1,030,798.50
UNITED RENTALS INC	623	495.06	308,422.38
UNITEDHEALTH GROUP INC	8,447	549.77	4,643,907.19
UNIVERSAL HEALTH SERVICES-B	567	137.45	77,934.15
US BANCORP	14,197	40.43	573,984.71
VALERO ENERGY	3,220	122.74	395,222.80
VERALTO CORP	1,997	75.43	150,633.71
VERISIGN INC	818	212.97	174,209.46
VERISK ANALYTICS INC	1,322	232.92	307,920.24
VERIZON COMMUNICATIONS INC	38,335	38.25	1,466,313.75
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	2,353	350.15	823,902.95
VF CORP	3,014	18.14	54,673.96
VIATRIS INC	10,938	9.83	107,520.54
VISA INC-CLASS A SHARES	14,652	255.74	3,747,102.48
VULCAN MATERIALS CO	1,212	216.03	261,828.36
WABTEC CORP	1,633	118.40	193,347.20
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	6,534	23.16	151,327.44
WALMART INC	13,014	150.86	1,963,292.04
WARNER BROS DISCOVERY INC	20,225	11.47	231,980.75
WASTE MANAGEMENT INC	3,361	172.50	579,772.50
WATERS CORP	539	292.14	157,463.46
WEC ENERGY GROUP INC	2,876	84.07	241,785.32
WELLS FARGO & COMPANY	33,363	46.10	1,538,034.30
WEST PHARMACEUTICAL SERVICES	674	342.24	230,669.76
WESTERN DIGITAL CORP	2,917	47.86	139,607.62
WESTROCK CO	2,337	41.16	96,190.92
WHIRLPOOL CORP	500	111.39	55,695.00
WILLIAMS COS INC	11,092	35.52	393,987.84
WILLIS TOWERS WATSON PLC	956	242.66	231,982.96
WR BERKLEY CORP	1,855	71.33	132,317.15
WW GRAINGER INC	406	804.05	326,444.30
WYNN RESORTS LTD	883	84.19	74,339.77
XCEL ENERGY INC	5,029	60.91	306,316.39
XYLEM INC	2,196	106.38	233,610.48
YUM! BRANDS INC	2,555	124.34	317,688.70
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	468	236.13	110,508.84
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	1,905	117.30	223,456.50
ZIONS BANCORP NA	1,351	38.93	52,594.43

	ZOETIS INC	4,197	184.60	774,766.20	
	米ドル 小計	2,801,680		344,066,815.99 (50,027,315,045)	
	合 計	2,801,680		50,027,315,045 (50,027,315,045)	

②株式以外の有価証券

通 貨	種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備 考		
米ドル	投資証券	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES	1,420	169,604.80			
		AMERICAN TOWER CORP	4,251	877,618.95			
		AVALONBAY COMMUNITIES INC	1,295	227,596.25			
		BOSTON PROPERTIES INC	1,316	84,329.28			
		CAMDEN PROPERTY TRUST	974	91,215.10			
		CROWN CASTLE INC	3,955	459,056.85			
		DIGITAL REALTY TRUST INC	2,760	372,075.60			
		EQUINIX INC	853	683,909.81			
		EQUITY RESIDENTIAL	3,145	184,988.90			
		ESSEX PROPERTY TRUST INC	585	132,274.35			
		EXTRA SPACE STORAGE INC	1,927	267,236.36			
		FEDERAL REALTY INVS TRUST	669	66,311.28			
		HEALTHPEAK PROPERTIES INC.	4,988	93,525.00			
		HOST HOTELS AND RESORTS INC	6,489	116,737.11			
		INVITATION HOMES INC	5,245	173,504.60			
		IRON MOUNTAIN INC	2,661	174,162.45			
		KIMCO REALTY CORP	5,652	114,396.48			
		MID-AMERICA APARTMENT COMMUNITIES INC	1,064	135,266.32			
		PROLOGIS INC	8,424	1,009,616.40			
		PUBLIC STORAGE	1,443	395,107.83			
		REALTY INCOME CORP	6,463	348,097.18			
		REGENCY CENTERS CORP	1,498	95,812.08			
		SBA COMMUNICATIONS CORP	988	241,249.84			
		SIMON PROPERTY	2,984	396,513.92			
		UDR INC	2,764	97,762.68			
		VENTAS INC	3,669	171,415.68			
		VICI PROPERTIES INC	9,241	281,942.91			
		WELLTOWER INC	5,047	442,722.84			
		WEYERHAEUSER CO	6,663	205,686.81			
		米ドル 小計			98,433	8,109,737.66 (1,179,155,855)	
		合 計			98,433	1,179,155,855 (1,179,155,855)	

(注1)投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

(注2)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額（単位:円）であります。

(注3)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注4)外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入株式 時価比率	組入投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	株式 474銘柄	95.2%	—	97.7%
	投資証券 29銘柄	—	2.2%	2.3%

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

当表に記載すべき内容は、「（2）注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に開示しておりますので、記載を省略しております。

「S&P米国REITインデックス・マザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

	2022年12月12日現在	2023年12月11日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	41,138,828	39,438,889
金銭信託	5,287,414	-
コール・ローン	6,335,962	165,265,778
投資証券	4,861,038,436	6,672,769,856
未収配当金	7,915,765	11,795,790
流動資産合計	4,921,716,405	6,889,270,313
資産合計	4,921,716,405	6,889,270,313
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	1,847	48,074
未払金	1,921,326	-
未払解約金	1,155,522	162,614,578
未払利息	16	44
その他未払費用	1,113	-
流動負債合計	3,079,824	162,662,696
負債合計	3,079,824	162,662,696
純資産の部		
元本等		
元本	2,888,389,097	3,614,579,625
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	2,030,247,484	3,112,027,992
元本等合計	4,918,636,581	6,726,607,617
純資産合計	4,918,636,581	6,726,607,617
負債純資産合計	4,921,716,405	6,889,270,313

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4.収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。
5.その他	外貨建取引等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

(2022年12月12日現在)	(2023年12月11日現在)
本書における開示対象ファンドの当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが本書における開示対象ファンドの当計算期間の翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。	同左

（貸借対照表に関する注記）

項目		2022年12月12日現在	2023年12月11日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	本書における開示対象ファンドの期首	2021年12月14日	2022年12月13日
	同期首元本額	1,875,065,484円	2,888,389,097円
	同期中追加設定元本額	1,607,562,353円	1,627,606,758円
	同期中一部解約元本額	594,238,740円	901,416,230円
	元本の内訳		
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	333,538,842円	324,976,149円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	2,350,640,731円	2,817,507,714円
	NZAM・ベータ 米国2資産（株式＋REIT）	100,976,367円	192,830,177円
	NZAM・ベータ 米国REIT	103,233,157円	279,265,585円
	合計	2,888,389,097円	3,614,579,625円
2.	本書における開示対象ファンドの計算期間の末日における受益権の総数	2,888,389,097口	3,614,579,625口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	1.7029円 (17,029円)	1.8610円 (18,610円)

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

項目	自 2021年12月14日 至 2022年12月12日	自 2022年12月13日 至 2023年12月11日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権等であります。 当ファンドが保有する有価証券は、全て売買目的で保有しており、デリバティブ取引は、ヘッジ目的以外にも利用する場合があります。また、これらの詳細は、「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）有価証券の評価基準及び評価方法、デリバティブ等の評価基準及び評価方法」に記載しております。 当該金融商品は、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、価格変動リスク等に晒されています。	同左
3. 金融商品に係るリスクの管理体制	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用（あるいはポジション組成）となっているか管理を行っております。 ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、運用管理会議を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用（あるいはポジション組成）となっているか管理を行っております。 ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、コンプライアンス委員会を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。

Ⅱ 金融商品の時価等に関する事項

項目	2022年12月12日現在	2023年12月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	投資証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 為替予約取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

(自 2021年12月14日 至 2022年12月12日)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
投資証券	64,227,611
合計	64,227,611

(自 2022年12月13日 至 2023年12月11日)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
投資証券	332,784,266
合計	332,784,266

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(通貨関連)

(2022年12月12日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 米ドル	1,700,000	—	1,698,153	△1,847
合計		1,700,000	—	1,698,153	△1,847

(2023年12月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	5,200,000	—	5,248,074	△48,074
合計		5,200,000	—	5,248,074	△48,074

(注) 時価の算定方法

1. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

① 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該仲値で評価しております。

② 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち受渡日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合には、発表されているもので為替予約の受渡日に最も近い先物相場の仲値で評価しております。

2. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

①株式

該当事項はありません。

②株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
米ドル	投資証券	ACADIA REALTY TRUST	4,353	68,820.93	
		AGREE REALTY CORP	4,402	259,233.78	
		ALEXANDER & BALDWIN INC	3,321	57,552.93	
		ALEXANDER'S INC	98	18,522.00	
		ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES	7,121	850,532.24	
		ALPINE INCOME PROPERTY TRUST	585	9,798.75	
		AMERICAN ASSETS TRUST INC	2,222	47,795.22	
		AMERICAN HOMES 4 RENT-A	14,542	510,133.36	
		AMERICOLD REALTY TRUST INC	11,617	329,690.46	
		APARTMENT INCOME REIT CO	6,824	223,690.72	
		APARTMENT INVT & MGMT CO-A	6,223	44,432.22	
		APPLE HOSPITALITY REIT INC	9,731	164,453.90	
		ARMADA HOFFLER PROPERTIES INC	3,107	37,190.79	
		ASHFORD HOSPITALITY TRUST	1,483	3,396.07	
		AVALONBAY COMMUNITIES INC	6,494	1,141,320.50	
		BOSTON PROPERTIES INC	6,600	422,928.00	
		BRAEMAR HOTELS & RESORTS INC	2,505	5,736.45	
		BRANDYWINE REALTY TRUST	7,870	39,192.60	
		BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	13,746	312,171.66	
		BROADSTONE NET LEASE INC-A	8,564	140,278.32	
		BRT APARTMENTS CORP	535	10,132.90	
		CAMDEN PROPERTY TRUST	4,883	457,292.95	
		CARETRUST REIT INC	4,549	102,716.42	
		CBL & ASSOCIATES PROPERTIES	1,129	26,452.47	
		CENTERSPACE	684	37,271.16	
		CHATHAM LODGING TRUST	2,234	22,719.78	
		CITY OFFICE REIT INC	1,826	10,006.48	
		CLIPPER REALTY INC	588	3,245.76	
		COMMUNITY HEALTHCARE TRUST INC	1,130	31,888.60	
		COPT DEFENSE PROPERTIES	5,146	126,797.44	
		COUSINS PROPERTIES INC	6,941	155,894.86	
		CTO REALTY GROWTH INC	924	16,059.12	

CUBESMART	10,281	433,652.58	
DIAMONDROCK HOSPITALITY CO	9,586	82,439.60	
DIGITAL REALTY TRUST INC	13,843	1,866,174.83	
DIVERSIFIED HEALTHCARE TRUST	9,869	24,475.12	
DOUGLAS EMMETT INC	7,625	109,113.75	
EASTERLY GOVERNMENT PROPERTIES INC	4,272	54,040.80	
EASTGROUP PROPERTIES INC	2,076	359,438.64	
ELME COMMUNITIES	4,016	54,818.40	
EMPIRE STATE REALTY TRUST INC-A	5,931	55,336.23	
EPR PROPERTIES	3,445	155,955.15	
EQUINIX INC	4,279	3,430,773.83	
EQUITY COMMONWEALTH	5,018	96,094.70	
EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	8,519	603,230.39	
EQUITY RESIDENTIAL	15,773	927,767.86	
ESSENTIAL PROPERTIES REALTY	7,134	173,427.54	
ESSEX PROPERTY TRUST INC	2,935	663,632.85	
EXTRA SPACE STORAGE INC	9,662	1,339,926.16	
FARMLAND PARTNERS INC	2,032	25,400.00	
FEDERAL REALTY INVS TRUST	3,355	332,547.60	
FIRST INDUSTRIAL REALTY TRUST	6,048	299,134.08	
FOUR CORNERS PROPERTY TRUST	4,142	100,319.24	
FRANKLIN STREET PROPERTIES CORP	4,210	10,482.90	
GARMING AND LEISURE PROPERTIES INC.	12,011	553,466.88	
GETTY REALTY CORP	2,102	60,831.88	
GLADSTONE COMMERCILA CORP	1,829	24,526.89	
GLADSTONE LAND CORPORATION	1,524	21,656.04	
GLOBAL MEDICAL REIT INC	2,818	29,673.54	
GLOBAL NET LEASE INC	8,887	80,871.70	
HEALTHCARE REALTY TRUST INCORPORATED-A	17,417	276,581.96	
HEALTHPEAK PROPERTIES INC.	25,017	469,068.75	
HIGHWOODS PROPERTIES INC	4,833	104,006.16	
HOST HOTELS AND RESORTS INC	32,542	585,430.58	
HUDSON PACIFIC PROPERTIES INC	5,801	44,145.61	
INDEPENDENCE REALTY TRUST INC	10,263	150,045.06	
INDUSTRIAL LOGISTICS PROPERTIES TRUST	2,704	11,032.32	
INNOVATIVE INDUSTRIAL PROPER	1,282	112,662.16	

INVENTRUST PROPERTIES CORP	3,088	77,848.48	
INVITATION HOMES INC	26,306	870,202.48	
IRON MOUNTAIN INC	13,347	873,561.15	
JBG SMITH PROPERTIES	4,305	66,555.30	
KILROY REALTY CORP	4,876	188,164.84	
KIMCO REALTY CORP	28,348	573,763.52	
KITE REALTY GROUP TRUST	10,032	220,704.00	
LTC PROPERTIES INC	1,894	62,710.34	
LXP INDUSTRIAL TRUST	13,381	122,971.39	
MACERICH CO/THE	9,844	131,811.16	
MEDICAL PROPERTIES TRUST INC	27,365	128,341.85	
MID-AMERICA APARTMENT COMMUNITIES INC	5,336	678,365.68	
NATIONAL STORAGE AFFILIATES TRUST	3,795	139,845.75	
NATL HEALTH INVESTORS INC	1,985	109,194.85	
NET LEASE OFFICE PROPERTY	652	12,714.00	
NETSTREIT CORP	3,064	50,923.68	
NEXPOINT DIVERSIFIED REAL	1,479	12,645.45	
NEXPOINT RESIDENTIAL TRUST	1,045	33,763.95	
NNN REIT INC	8,342	339,936.50	
OFFICE PROPERTIES INCOME TRUST	2,222	13,931.94	
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	11,198	341,762.96	
ONE LIBERTY PROPERTIES INC	731	16,177.03	
ORION OFFICE REIT INC	2,593	14,494.87	
PARAMOUNT GROUP INC	7,553	40,710.67	
PARK HOTELS & RESORTS INC	9,866	149,765.88	
PEAKSTONE REALTY TRUST	1,645	28,886.20	
PEBBLEBROOK HOTEL TRUST	5,511	73,957.62	
PHILLIPS EDISON & COMPANY INC	5,369	191,243.78	
PHYSICIANS REALTY TRUST	10,905	137,075.85	
PIEDMONT OFFICE REALTY TRUST INC	5,657	37,732.19	
PLYMOUTH INDUSTRIAL REIT INC	1,639	37,680.61	
POSTAL REALTY TRUST INC-A	877	12,812.97	
PROLOGIS INC	42,249	5,063,542.65	
PUBLIC STORAGE	7,237	1,981,562.97	
REALTY INCOME CORP	32,413	1,745,764.18	
REGENCY CENTERS CORP	7,514	480,595.44	
RETAIL OPPORTUNITY INVESTMENTS	5,762	77,326.04	

	REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	9,441	494,897.22	
	RLJ LODGING TRUST	7,202	77,709.58	
	RPT REALTY	3,651	44,578.71	
	RYMAN HOSPITALITY PROPERTIES	2,730	285,967.50	
	SABRA HEALTH CARE REIT INC	10,574	149,516.36	
	SAFEHOLD INC	2,047	44,686.01	
	SAUL CENTERS INC	591	23,125.83	
	SERVICE PROPERTIES TRUST	7,567	58,114.56	
	SIMON PROPERTY	14,963	1,988,283.44	
	SITE CENTERS CORP	8,230	111,351.90	
	SL GREEN REALTY CORP	2,945	125,133.05	
	SPIRIT REALTY CAPITAL INC	6,463	266,986.53	
	STAG INDUSTRIAL INC	8,216	297,583.52	
	STAR HOLDINGS	554	7,262.94	
	SUMMIT HOTEL PROPERTIES INC	4,920	31,438.80	
	SUN COMMUNITIES INC	5,690	726,271.60	
	SUNSTONE HOTEL INVESTORS INC	9,475	96,171.25	
	TANGER INC	4,810	127,946.00	
	TERRENO REALTY CORP	3,837	226,037.67	
	UDR INC	13,862	490,298.94	
	UMH PROPERTIES INC	2,711	40,014.36	
	UNITI GROUP INC	10,915	59,923.35	
	UNIVERSAL HEALTH REALTY INCOME TRUST	582	24,624.42	
	URBAN EDGE PROPERTIES	5,380	93,665.80	
	VENTAS INC	18,401	859,694.72	
	VERIS RESIDENTIAL INC	3,663	54,835.11	
	VICI PROPERTIES INC	46,345	1,413,985.95	
	VORNADO REALTY TRUST	7,320	204,740.40	
	WELLTOWER INC	25,311	2,220,280.92	
	WHITESTONE REIT	2,151	24,822.54	
	WP CAREY INC	9,783	612,024.48	
	XENIA HOTELS & RESORTS INC	4,905	61,950.15	
米ドル 小計		1,019,718	45,892,502.45 (6,672,769,856)	
合 計		1,019,718	6,672,769,856 (6,672,769,856)	

(注1)投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

(注2)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額（単位:円）であります。

(注3)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注4)外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	投資証券 137銘柄	99.2%	100.0%

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

当表に記載すべき内容は、「（2）注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に開示しておりますので、記載を省略しております。

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（2023年12月12日から2024年 6月11日まで）の中間財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人による中間監査を受けております。

【中間財務諸表】

【N Z A M ・ ベー タ 米 国 2 資 産（株 式 + R E I T）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	前計算期間末 2023年12月11日現在	当中間計算期間末 2024年 6月11日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	496,294	1,448,774
親投資信託受益証券	720,368,908	920,957,672
未収入金	2,545,800	2,901,900
未収利息	-	3
流動資産合計	723,411,002	925,308,349
資産合計	723,411,002	925,308,349
負債の部		
流動負債		
未払金	-	1,020,800
未払解約金	797,673	717,215
未払受託者報酬	107,448	135,260
未払委託者報酬	1,217,660	1,532,874
その他未払費用	17,733	13,468
流動負債合計	2,140,514	3,419,617
負債合計	2,140,514	3,419,617
純資産の部		
元本等		
元本	456,931,286	490,770,501
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	264,339,202	431,118,231
（分配準備積立金）	86,757,009	79,857,354
元本等合計	721,270,488	921,888,732
純資産合計	721,270,488	921,888,732
負債純資産合計	723,411,002	925,308,349

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前中間計算期間 自 2022年12月13日 至 2023年 6月12日	当中間計算期間 自 2023年12月12日 至 2024年 6月11日
営業収益		
受取利息	1	340
有価証券売買等損益	38,826,240	142,932,464
営業収益合計	38,826,241	142,932,804
営業費用		
支払利息	104	36
受託者報酬	71,106	135,260
委託者報酬	805,852	1,532,874
その他費用	7,055	13,468
営業費用合計	884,117	1,681,638
営業利益又は営業損失（△）	37,942,124	141,251,166
経常利益又は経常損失（△）	37,942,124	141,251,166
中間純利益又は中間純損失（△）	37,942,124	141,251,166
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	685,520	5,564,166
期首剰余金又は期首欠損金（△）	88,371,282	264,339,202
剰余金増加額又は欠損金減少額	52,369,861	53,867,543
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	52,369,861	53,867,543
剰余金減少額又は欠損金増加額	8,792,088	22,775,514
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	8,792,088	22,775,514
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	169,205,659	431,118,231

（３）【中間注記表】**（重要な会計方針に係る事項に関する注記）**

1.有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2.収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

（中間貸借対照表に関する注記）

項目		前計算期間末 2023年12月11日現在	当中間計算期間末 2024年 6月11日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	期首元本額	254,979,272円	456,931,286円
	期中追加設定元本額	259,050,270円	72,688,277円
	期中一部解約元本額	57,098,256円	38,849,062円
2.	中間計算期間の末日における受益権の総数	456,931,286口	490,770,501口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	1.5785円 (15,785円)	1.8785円 (18,785円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	前計算期間末 2023年12月11日現在	当中間計算期間末 2024年 6月11日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	中間貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	親投資信託受益証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（参考情報）

当ファンドは、「S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド」受益証券及び「S&P米国REITインデックス・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

	2023年12月11日現在	2024年 6月11日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	853,512,700	1,386,410,039
コール・ローン	126,502,125	229,786,631
株式	50,027,315,045	80,733,386,429
投資証券	1,179,155,855	1,666,607,525
派生商品評価勘定	8,820,978	17,065,944
未収配当金	63,501,965	72,324,726
未収利息	-	476
差入委託証拠金	353,040,762	659,768,257
流動資産合計	52,611,849,430	84,765,350,027
資産合計	52,611,849,430	84,765,350,027
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	9,088	9,833
未払解約金	59,956,597	167,240,024
未払利息	34	-
流動負債合計	59,965,719	167,249,857
負債合計	59,965,719	167,249,857
純資産の部		
元本等		
元本	21,919,670,882	27,855,665,824
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	30,632,212,829	56,742,434,346
元本等合計	52,551,883,711	84,598,100,170
純資産合計	52,551,883,711	84,598,100,170
負債純資産合計	52,611,849,430	84,765,350,027

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	株式、投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として計算期間末日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4.収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。
5.その他	外貨建取引等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

項目		2023年12月11日現在	2024年 6月11日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	本書における開示対象ファンドの期首	2022年12月13日	2023年12月12日
	同期首元本額	13,574,101,398円	21,919,670,882円
	同期中追加設定元本額	11,666,385,446円	10,474,032,352円
	同期中一部解約元本額	3,320,815,962円	4,538,037,410円
	元本の内訳		
	農林中金＜パートナーズ＞つみたて米国株式 S & P 5 0 0	7,521,793,492円	8,889,415,958円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファ ンド（安定運用コース）	254,412,986円	198,007,750円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファ ンド（資産形成コース）	2,191,316,834円	1,778,960,305円
	農林中金＜パートナーズ＞米国株式S&P500イン デックスファンド	9,549,715,781円	13,948,850,811円
	NZAM・ベータ S & P 5 0 0	754,539,982円	817,153,552円
	NZAM・ベータ 米国2資産（株式＋REIT）	150,787,049円	151,640,332円
	NZAM 上場投信 S&P500（為替ヘッジあり）	1,497,104,758円	2,071,637,116円
	合計	21,919,670,882円	27,855,665,824円
2.	本書における開示対象ファンドの中間計算期間 の末日における受益権の総数	21,919,670,882口	27,855,665,824口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	2.3975円 (23,975円)	3.0370円 (30,370円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年12月11日現在	2024年 6月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	株式 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 投資証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 先物取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 為替予約取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）
取引の時価等に関する事項
（株式関連）

（2023年12月11日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	1,331,598,645	—	1,339,861,000	8,262,355
合計		1,331,598,645	—	1,339,861,000	8,262,355

（2024年 6月11日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	2,306,931,756	—	2,323,911,596	16,979,840
合計		2,306,931,756	—	2,323,911,596	16,979,840

（注）時価の算定方法

- 1.先物取引の時価評価については、原則として計算日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。
 - 2.先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
 - 3.契約額等には手数料相当額は含んでおりません。
- ※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

(通貨関連)

(2023年12月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 米ドル	35,500,000	—	36,049,535	549,535
合計		35,500,000	—	36,049,535	549,535

(2024年 6月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 米ドル	34,600,000	—	34,676,271	76,271
合計		34,600,000	—	34,676,271	76,271

(注) 時価の算定方法

1. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

① 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該仲値で評価しております。

② 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち受渡日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

- ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合には、発表されているもので為替予約の受渡日に最も近い先物相場の仲値で評価しております。

2. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

「S&P米国REITインデックス・マザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

	2023年12月11日現在	2024年 6月11日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	39,438,889	92,769,668
コール・ローン	165,265,778	20,144,008
投資証券	6,672,769,856	6,931,422,782
未収入金	-	1,020,800
未収配当金	11,795,790	11,921,200
未収利息	-	41
流動資産合計	6,889,270,313	7,057,278,499
資産合計	6,889,270,313	7,057,278,499
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	48,074	103,606
未払解約金	162,614,578	48,983,547
未払利息	44	-
流動負債合計	162,662,696	49,087,153
負債合計	162,662,696	49,087,153
純資産の部		
元本等		
元本	3,614,579,625	3,362,677,840
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	3,112,027,992	3,645,513,506
元本等合計	6,726,607,617	7,008,191,346
純資産合計	6,726,607,617	7,008,191,346
負債純資産合計	6,889,270,313	7,057,278,499

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4.収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。
5.その他	外貨建取引等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

項目		2023年12月11日現在	2024年 6月11日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	本書における開示対象ファンドの期首	2022年12月13日	2023年12月12日
	同期首元本額	2,888,389,097円	3,614,579,625円
	同期中追加設定元本額	1,627,606,758円	318,902,689円
	同期中一部解約元本額	901,416,230円	570,804,474円
	元本の内訳		
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	324,976,149円	290,129,239円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	2,817,507,714円	2,575,891,594円
	NZAM・ベータ 米国2資産（株式＋REIT）	192,830,177円	220,923,173円
	NZAM・ベータ 米国REIT	279,265,585円	275,733,834円
	合計	3,614,579,625円	3,362,677,840円
2.	本書における開示対象ファンドの中間計算期間の末日における受益権の総数	3,614,579,625口	3,362,677,840口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	1.8610円 (18,610円)	2.0841円 (20,841円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年12月11日現在	2024年 6月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	投資証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 為替予約取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(通貨関連)

(2023年12月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	5,200,000	—	5,248,074	△48,074
合計		5,200,000	—	5,248,074	△48,074

(2024年 6月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	47,000,000	—	47,103,606	△103,606
合計		47,000,000	—	47,103,606	△103,606

(注) 時価の算定方法

1. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

① 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該仲値で評価しております。

② 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち受渡日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合には、発表されているもので為替予約の受渡日に最も近い先物相場の仲値で評価しております。

2. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

NZAM・ベータ 米国2資産（株式＋REIT）

（2024年 7月31日現在）

I 資産総額	964,473,706円
II 負債総額	4,408,279円
III 純資産総額（I－II）	960,065,427円
IV 発行済口数	500,818,684口
V 1万口当たり純資産額（III／IV）	19,170円

（参考）

S＆P500インデックス・マザーファンド

純資産額計算書

（2024年 7月31日現在）

I 資産総額	93,908,680,236円
II 負債総額	4,176,767,448円
III 純資産総額（I－II）	89,731,912,788円
IV 発行済口数	30,032,446,602口
V 1万口当たり純資産額（III／IV）	29,878円

S＆P米国REITインデックス・マザーファンド

純資産額計算書

（2024年 7月31日現在）

I 資産総額	7,164,288,259円
II 負債総額	79,569,785円
III 純資産総額（I－II）	7,084,718,474円
IV 発行済口数	3,209,493,007口
V 1万口当たり純資産額（III／IV）	22,074円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

（1）受益証券の名義書換手続き

該当事項はありません。

ファンドの受益権は、振替受益権であり、委託者は、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

（2）受益者に対する特典

該当事項はありません。

（3）受益権の譲渡

- ① 受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。
- ② 上記①の申請のある場合には、上記①の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記①の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。
- ③ 上記①の振替について、委託者は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めたときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

（4）受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に対抗することができません。

（5）受益権の再分割

委託者は、受託者と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

（6）償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としてします。）に支払います。

（7）質権口記載又は記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

（1）資本金の額（2024年7月31日現在）

1,466百万円

発行する株式の総数：92,330株（普通株式92,328株、A種優先株式1株、B種優先株式1株）

発行済株式総数：29,330株（普通株式29,328株、A種優先株式1株、B種優先株式1株）

最近5年間における資本金の額の増減

- ・2021年9月3日に普通株式9,072株を消却、またA種優先株式1株およびB種優先株式1株を発行し2円増資。2021年9月8日に1,953,600,000円減資（資本金1,466百万円）

（注）A種優先株式およびB種優先株式は議決権を有しません。

（2）委託会社等の機構

a. 委託会社等の機構（委託会社等の意思決定機構）

定款に基づき、10名以内の取締役が、株主総会において選任されます。取締役の選任は、総株主の議決権の過半数を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもってこれを行い、累積投票によらないものとします。

取締役の任期は、就任後2年内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結のときまでとし、補欠により選任された取締役の任期は、退任者の残存期間とします。

取締役会はその決議をもって、取締役の中より取締役社長1名を置くとともに、取締役会長1名、取締役副社長、専務取締役および常務取締役若干名を選任することができます。また取締役の中より代表取締役を選任します。

取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、代表取締役が招集します。また、取締役会長が取締役会の議長となります。取締役会長に事故がある時は、あらかじめ取締役会の定めた順序により、他の取締役がこれに代わります。取締役会の招集通知は、開催日の3日前までに発することとします。また、取締役および監査役全員の同意がある場合は、招集の手続きを経ないで取締役会を開催することができます。

取締役会は、法令または定款に定められた事項を決議します。その決議は、取締役の過半数が出席し、その出席取締役の過半数をもって行います。

b. 運用プロセス（投資運用の意思決定機構）

① 運用に関する会議等

1. 投資戦略委員会

原則として月1回以上開催し、投資環境や市場動向等を踏まえ、最適な資産配分を決定します。

2. 資産ポートフォリオ委員会

原則として月1回以上開催し、個別資産毎にセクター、スタイル、ファクター等のリスク配分を決定します。

3. 銘柄会議

必要に応じ開催し、ポートフォリオ構築に必要な銘柄の相対的な優位性等を決定します。

4. 運用リスク管理会議

原則として月1回開催し、ファンド運用資産に係るリスクを的確に把握・管理することを目的に、運用リスクや運用パフォーマンスの状況ならびに、コンプライアンス委員会において報告される事項を除く、法令、協会ルール、信託約款、契約細則等の遵守状況の検証および、運用計画と実績の検証結果について報告・審議を行います。

5. コンプライアンス委員会

原則として年4回開催し、ファンドの法令等（法令、協会ルール、信託約款等）の遵守状況など運用の適切性確保に関する遵守状況の報告・審議を行います。

② 運用の流れ

1. 運用方針の決定

経済環境や市場環境等グローバルな投資情報の分析等に基づき、最適な資産配分を決定した後、個別資産毎のリスク配分および資産構成銘柄等を組織的な意思決定プロセスを通じて決定しています。

2. 運用の実践

ファンドマネージャーは、ファンド毎のリスク許容度やガイドライン等を考慮しながら、上記決定を受けた運用方針に基づいた運用を行います。

3. 運用状況の評価

ファンドの運用状況については、運用リスク管理会議やコンプライアンス委員会による運用状況等の評価を通じ、最適な投資行動を実践しているかの確認を行っています。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務および第二種金融商品取引業を行っています。

2024年7月31日現在、委託者が運用を行っている証券投資信託は以下のとおりです。

種別（基本的性格）	本数	純資産総額
株式投資信託	248本	3,733,734百万円
公社債投資信託	66本	268,194百万円
合計	314本	4,001,929百万円

3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により、作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

（１）【貸借対照表】

		前事業年度 (2023年3月31日)		当事業年度 (2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	※ 1		18,266,544		18,932,059
分別金信託			100,000		100,000
1年内償還予定のその他の関係			1,000,000		—
会社有価証券					
前払費用			344,367		486,689
未収委託者報酬			1,872,978		1,872,842
未収運用受託報酬	※ 1		2,021,600		2,465,487
未収投資助言報酬	※ 1		982,868		778,017
未収収益			188		—
その他			42,838		76,272
流動資産計			24,631,387		24,711,369
固定資産					
有形固定資産			812,781		790,471
建物	※ 2	578,104		563,553	
器具備品	※ 2	234,676		226,917	
無形固定資産			5,599		4,929
商標権		3,205		2,534	
電話加入権等		2,394		2,394	
投資その他の資産			1,663,601		1,510,178
投資有価証券		645,029		705,848	
長期差入保証金		493,713		367,019	
長期前払費用		6,563		7,346	
会員権		6,700		6,700	
繰延税金資産		511,594		423,264	
固定資産計			2,481,982		2,305,579
資産合計			27,113,369		27,016,949

		前事業年度 (2023年3月31日)		当事業年度 (2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			1,060,990		954,088
未払金			1,327,197		1,425,701
未払収益分配金		13		13	
未払償還金		3,132		3,132	
未払手数料		331,839		344,712	
未払運用委託料		982,867		1,068,239	
その他未払金		9,343		9,603	
未払費用			260,450		271,162
未払法人税等			2,638,545		1,627,180
未払消費税等			572,179		152,836
賞与引当金			390,393		441,655
流動負債計			6,249,758		4,872,626
固定負債					
退職給付引当金			284,250		321,281
役員退任慰労引当金			18,800		28,500
固定負債計			303,050		349,781
負債合計			6,552,808		5,222,407
(純資産の部)					
株主資本					
資本金			1,466,400		1,466,400
利益剰余金					
利益準備金		366,600		366,600	
その他利益剰余金		18,665,225		19,844,054	
別途積立金		8,538,121		8,538,121	
繰越利益剰余金		10,127,103		11,305,932	
利益剰余金計			19,031,825		20,210,654
株主資本計			20,498,225		21,677,054
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金			62,336		117,488
評価・換算差額等計			62,336		117,488
純資産合計			20,560,561		21,794,542
負債純資産合計			27,113,369		27,016,949

（２）【損益計算書】

		前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
営業収益	※ 1				
委託者報酬			8,014,624		7,930,871
運用受託報酬			7,559,541		8,360,110
投資助言報酬			9,671,667		8,342,763
営業収益計			25,245,832		24,633,744
営業費用					
支払手数料			1,267,282		1,347,902
広告宣伝費			32,905		86,891
調査費			1,227,550		1,394,550
調査費		1,180,041		1,340,904	
委託調査費		44,166		50,178	
図書費		3,343		3,467	
委託計算費			403,233		426,485
外部運用委託料			3,997,416		3,886,146
営業雑経費			177,368		202,297
通信費		59,900		63,931	
印刷費		65,113		73,495	
協会費		19,108		18,309	
諸会費		2,252		2,156	
その他営業雑経費		30,993		44,404	
営業費用計			7,105,757		7,344,273
一般管理費					
給料			2,680,109		2,854,618
役員報酬		104,475		104,382	
役員賞与		—		275	
給料・手当		1,803,065		1,861,664	
賞与		373,174		436,683	
賞与引当金繰入額		390,393		441,912	
役員退任慰労引当金繰入額		9,000		9,700	
福利厚生費			336,941		361,825
交際費			14,008		12,822
旅費交通費			60,965		87,097
租税公課			219,965		202,480
不動産賃借料			271,157		431,035
役員退任慰労金			700		—
退職給付費用			96,457		113,823
固定資産減価償却費			154,811		103,935
資産除去債務（履行差額）			128,053		—
業務委託費			771,484		677,733
諸経費			381,294		417,134
一般管理費計			5,115,950		5,262,506
営業利益			13,024,124		12,026,964

		前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
営業外収益					
受取配当金			24,564		66,806
有価証券利息			1,358		433
受取利息			90		105
投資有価証券売却益			8,036		164
投資有価証券償還益			618		—
その他			92		1,572
営業外収益計			34,760		69,082
営業外費用					
支払利息	※ 1		373		—
投資有価証券償還損			2,105		—
その他			10,042		312
営業外費用計			12,521		312
經常利益			13,046,364		12,095,733
特別損失					
固定資産除却損	※ 2		25,679		737
有価証券評価損			—		17,814
特別損失計			25,679		18,551
税引前当期純利益			13,020,684		12,077,181
法人税、住民税及び事業税			4,114,491		3,612,954
法人税等調整額			△ 120,567		63,989
法人税等合計			3,993,923		3,676,944
当期純利益			9,026,760		8,400,237

（３）【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2022年4月 1 日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

項目	株主資本					
	資本金	利益剰余金				株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計	
			別途積立金	繰 越 利 益 剰 余 金		
当期首残高	1,466,400	74,040	8,538,121	6,964,514	15,576,675	17,043,075
当期変動額						
剰余金の配当				△ 5,571,611	△ 5,571,611	△ 5,571,611
利益準備金の積立		292,560		△ 292,560	—	—
当期純利益				9,026,760	9,026,760	9,026,760
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	292,560	—	3,162,589	3,455,149	3,455,149
当期末残高	1,466,400	366,600	8,538,121	10,127,103	19,031,825	20,498,225

(単位：千円)

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	71,798	71,798	17,114,873
当期変動額			
剰余金の配当			△ 5,571,611
利益準備金の積立			—
当期純利益			9,026,760
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 9,461	△ 9,461	△ 9,461
当期変動額合計	△ 9,461	△ 9,461	3,445,687
当期末残高	62,336	62,336	20,560,561

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

項目	株主資本					
	資本金	利益剰余金				株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計	
			別途積立金	繰 越 利 益 剰 余 金		
当期首残高	1,466,400	366,600	8,538,121	10,127,103	19,031,825	20,498,225
当期変動額						
剰余金の配当				△7,221,408	△7,221,408	△7,221,408
利益準備金の積立						
当期純利益				8,400,237	8,400,237	8,400,237
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	1,178,829	1,178,829	1,178,829
当期末残高	1,466,400	366,600	8,538,121	11,305,932	20,210,654	21,677,054

(単位：千円)

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	62,336	62,336	20,560,561
当期変動額			
剰余金の配当			△7,221,408
利益準備金の積立			
当期純利益			8,400,237
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	55,151	55,151	55,151
当期変動額合計	55,151	55,151	1,233,980
当期末残高	117,488	117,488	21,794,542

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

- (1) 満期保有目的の債券
償却原価法（定額法）を採用しております。
- (2) その他有価証券
市場価格のない株式等以外のもの
期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定）を採用しております。
市場価格のない株式等
総平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
定率法を採用しております。ただし、建物（附属設備を除く。）及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
建物 6～50年
器具備品 3～15年
- (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
商標権 10年

3. 引当金の計上基準

- (1) 賞与引当金
従業員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額を計上しております。
- (2) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
- (3) 役員退任慰労引当金
役員の退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. 収益の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

注記事項

（貸借対照表関係）

前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
※ 1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含ま れているものは次のとおりであります。 預金 18,065,313千円 未収運用受託報酬 1,548,805千円 未収投資助言報酬 894,529千円	※ 1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含ま れているものは次のとおりであります。 預金 18,671,963千円 未収運用受託報酬 1,593,256千円 未収投資助言報酬 609,237千円
※ 2 有形固定資産の減価償却累計額 建物 239,244千円 器具備品 148,081千円 合計 387,326千円	※ 2 有形固定資産の減価償却累計額 建物 18,579千円 器具備品 204,430千円 合計 223,009千円

（損益計算書関係）

前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
※ 1 各科目に含まれている関係会社に対する ものは次のとおりであります。 営業収益 15,413,517千円 支払利息 186千円	※ 1 各科目に含まれている関係会社に対する ものは次のとおりであります。 営業収益 12,563,442千円 支払利息 一千円
※ 2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであ ります。 器具備品 25,679千円	※ 2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであ ります。 器具備品 737千円

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
発行済株式				
普通株式（株）	29,328	—	—	29,328
A種優先株式（株）	1	—	—	1
B種優先株式（株）	1	—	—	1
合計（株）	29,330	—	—	29,330

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額 （千円）	基 準 日	効力発生日
2022年6月27日 定時株主総会	A種優先株式	4,916,947	4,916,947	2022年3月31日	2022年6月28日
	B種優先株式	654,664	654,664	2022年3月31日	2022年6月28日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	配当の原資	1株当たり 配当額 （千円）	基 準 日	効力発生日
2023年6月26日 定時株主総会	A種優先株式	6,401,056	利益剰余金	6,401,056	2023年3月31日	2023年6月27日
	B種優先株式	820,352	利益剰余金	820,352	2023年3月31日	2023年6月27日

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
発行済株式				
普通株式（株）	29,328	—	—	29,328
A種優先株式（株）	1	—	—	1
B種優先株式（株）	1	—	—	1
合計（株）	29,330	—	—	29,330

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（千円）	基 準 日	効力発生日
2023年6月26日 定時株主総会	A種優先株式	6,401,056	6,401,056	2023年3月31日	2023年6月27日
	B種優先株式	820,352	820,352	2023年3月31日	2023年6月27日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当金の総額 （千円）	配当の原資	1株当たり 配当額 （千円）	基 準 日	効力発生日
2024年6月24日 定時株主総会	A種優先株式	5,916,455	利益剰余金	5,916,455	2024年3月31日	2024年6月25日
	B種優先株式	803,734	利益剰余金	803,734	2024年3月31日	2024年6月25日

(リース取引関係)

前事業年度 2023年3月31日	当事業年度 2024年3月31日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については主に安全性の高い金融商品により行っております。なお、投資有価証券に含まれる投資信託については、市場リスクに晒されておりますが、その取得については、社内規定により、取得金額の上限を定めるとともに、当社が設定する投資信託について、当初設定時における取得、または商品性を適正に維持するための取得に限定しており、毎月時価の把握を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券 (*1)	643,342	643,342	—
(2)その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券 (*2)	1,000,000	999,925	△75
資産計	1,643,342	1,643,267	△75

(*) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未収投資助言報酬」、「未払法人税等」については、現金であること、あるいは短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(*1) 市場価格のない株式等は、「(1) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は1,687千円であります。

(*2) 1年内償還予定のその他の関係会社有価証券を含んでおります。

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券 (*1)	704,161	704,161	—
(2)その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	—	—	—
資産計	704,161	704,161	—

(*) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未収投資助言報酬」、「未払法人税等」については、現金であること、あるいは短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(*1) 市場価格のない株式等は、「(1) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は1,687千円であります。

3. 金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

当事業年度におけるレベルごとの時価は次のとおりであります。

金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル 1 の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル 2 の時価：レベル 1 のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル 3 の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券				
投資信託	—	704,161	—	704,161
資産計	—	704,161	—	704,161

(注) 時価の算定に用いた評価技法および時価の算定に係るインプットの説明

投資信託

当社の保有している投資信託は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2の時価に分類しております。なお、投資信託の時価は、基準価額によっております。

(2) 時価で貸借対照表計上に計上している金融商品以外の金融商品

該当事項はありません。

4. 金銭債権および満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2023年3月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	18,266,544	—	—	—
未収委託者報酬	1,872,978	—	—	—
未収運用受託報酬	2,021,600	—	—	—
未収投資助言報酬	982,868	—	—	—
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期 のあるもの	—	—	105,317	55,660
その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	1,000,000	—	—	—
合計	24,143,992	—	105,317	55,660

当事業年度(2024年3月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	18,932,059	—	—	—
未収委託者報酬	1,872,842	—	—	—
未収運用受託報酬	2,465,487	—	—	—
未収投資助言報酬	778,017	—	—	—
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期 のあるもの	—	—	140,214	—
その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	—	—	—	—
合計	24,048,407	—	140,214	—

5. 社債、長期借入金、リース債務及びその他の有利子負債の決済日後の返済予定

前事業年度（2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（2024年3月31日）

該当事項はありません。

（有価証券関係）

1. 満期保有目的の債券

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	金融債	—	—	—
	小計	—	—	—
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	金融債	1,000,000	999,925	△75
	小計	1,000,000	999,925	△75
合計		1,000,000	999,925	△75

当事業年度（2024年3月31日）

該当事項はありません。

2. その他有価証券

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	524,473	410,805	113,668
	小計	524,473	410,805	113,668
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	118,869	142,690	△23,820
	小計	118,869	142,690	△23,820
合計		643,342	553,495	89,847

（注）時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があると判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当事業年度においては、該当事項はありません。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	587,603	400,805	186,798
	小計	587,603	400,805	186,798
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	116,557	134,016	△17,458
	小計	116,557	134,016	△17,458
合計		704,161	534,821	169,339

（注）時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があると判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当事業年度においては、投資有価証券について17,814千円減損処理を行っています。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

3. 売却したその他有価証券

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	54,000	8,036	—
合計	54,000	8,036	—

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	10,164	164	—
合計	10,164	164	—

（デリバティブ取引関係）

前事業年度（2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（2024年3月31日）

該当事項はありません。

（退職給付関係）**1. 採用している退職給付制度の概要**

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度（非積立型制度であります。）を採用しております。

当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度**（1）簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表（単位：千円）**

	前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
退職給付引当金の期首残高	240,550	284,250
退職給付費用	45,110	50,391
退職給付の支払額	1,410	13,360
退職給付引当金の期末残高	284,250	321,281

（2）退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表（単位：千円）

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	284,250	321,281
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	284,250	321,281
退職給付引当金	284,250	321,281
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	284,250	321,281

（3）退職給付費用（単位：千円）

	前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
簡便法で計算した退職給付費用	45,110	50,391

(税効果会計関係)

(単位：千円)

前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 繰延税金資産 ソフトウェア償却超過額 78,112 敷金償却否認 30,554 本社移転費用否認 74,687 会員権評価損否認 2,591 電話加入権評価損 1,395 繰延資産償却超過額 619 賞与引当金 119,538 役員退任慰労引当金 5,756 退職給付引当金 87,037 投資有価証券減損 - その他有価証券評価差額金 7,293 未払事業税 127,691 その他 11,122 繰延税金資産小計 546,399 評価性引当額 — 繰延税金資産合計 546,399 繰延税金負債 その他有価証券評価差額金 △34,805 繰延税金負債合計 △34,805 繰延税金資産の純額 511,594	1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 繰延税金資産 ソフトウェア償却超過額 129,397 敷金償却否認 1,714 本社移転費用否認 — 会員権評価損否認 2,591 電話加入権評価損 1,395 繰延資産償却超過額 5,300 賞与引当金 135,235 役員退任慰労引当金 8,726 退職給付引当金 98,376 投資有価証券減損 5,454 その他有価証券評価差額金 5,345 未払事業税 83,444 その他 3,479 繰延税金資産小計 480,462 評価性引当額 — 繰延税金資産合計 480,462 繰延税金負債 その他有価証券評価差額金 △57,197 繰延税金負債合計 △57,197 繰延税金資産の純額 423,264
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（資産除去債務関係）

前事業年度 （自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日）
本社は不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。 当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上しております。	本社は不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。 当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上しております。

(収益認識に関する注記)

当社は、投資運用業により委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。

1. 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回、もしくは年1回受取ります。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。
2. 運用受託報酬は、投資顧問契約で定められた投資顧問報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。
3. 投資助言報酬は、投資助言契約で定められた投資助言報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年1回受取ります。当該報酬は顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。

当事業年度の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は損益計算書記載の通りです。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1)営業収益

(単位：千円)

日本	ケイマン	合計
23,537,958	1,707,874	25,245,832

(注) 営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2)有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	16,103,493	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	2,486,311	投資運用業

(注) 営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1)営業収益

（単位：千円）

日本	ケイマン	合計
21,763,842	2,869,902	24,633,744

（注）営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2)有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	13,144,143	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	2,259,461	投資運用業

（注）営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 関連当事者との取引

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	農林中央金庫	東京都千代田区	4,040,198	金融業	被所有 直接 66.66%	当社投資信託の購入・募集・販売の取扱、投資一任契約等の締結、投資助言契約の締結 役員の兼任	運用受託報酬の受取(注1)	5,822,158	未収投資一任報酬	1,548,805
							投資助言報酬の受取(注1)	9,591,359	未収投資助言報酬	894,529

(注1) 取引条件は、アームズレンジスルールにおけるガイドラインに従い、一般取引条件を勘案した個別契約に基づき決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

農林中央金庫（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 関連当事者との取引

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	農林中央金庫	東京都千代田区	4,040,198	金融業	被所有 直接 66.66%	当社投資信託の購入・募集・販売の取扱、投資一任契約等の締結、投資助言契約の締結 役員の兼任	運用受託報酬の受取(注1)	4,374,116	未収投資一任報酬	1,593,256
							投資助言報酬の受取(注1)	8,189,326	未収投資助言報酬	609,237

(注1) 取引条件は、アームズレンジスルールにおけるガイドラインに従い、一般取引条件を勘案した個別契約に基づき決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

農林中央金庫（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	345,775円28銭	347,655円80銭
1株当たり当期純利益金額	－銭	－銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	20,560,561	21,794,542
純資産の部の合計額から控除する金額 （千円）	10,419,663	11,598,492
（うちA種優先株式優先配当額・B種 優先株式優先配当額）	(9,026,760)	(8,400,237)
（うちA種優先株式未分配配当額・B 種優先株式未分配配当額）	(1,392,902)	(3,198,255)
普通株式に係る期末の純資産額 （千円）	10,140,897	10,196,049
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（株）	29,328	29,328

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
当期純利益金額（千円）	9,026,760	8,400,237
普通株主に帰属しない金額（千円）	9,026,760	8,400,237
（うちA種優先株式優先配当額・B種 優先株式優先配当額）	(9,026,760)	(8,400,237)
普通株式に係る当期純利益金額 （千円）	—	—
普通株式の期中平均株式数（株）	29,328	29,328

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託者は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- ① 自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- ② 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- ③ 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託者の親法人等（委託者の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下④⑤において同じ。）又は子法人等（委託者が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は金融デリバティブ取引を行うこと。
- ④ 委託者の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- ⑤ 上記③④に掲げるもののほか、委託者の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

- （１）定款の変更、事業譲渡又は事業譲受、出資の状況その他の重要事項について
該当事項はありません。

- （２）訴訟事件その他の重要事項

本書提出日現在、委託者およびファンドに重要な影響を与えた事実、または、与えると予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

（1）受託者

① 名称

三菱UFJ信託銀行株式会社

② 資本金の額（2024年3月末日現在）

324,279百万円

③ 事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

<再信託受託会社の概況>

① 名称

日本マスタートラスト信託銀行株式会社

② 資本金の額（2024年3月末日現在）

10,000百万円

③ 事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

（2）販売会社

①名称	②資本金の額(単位：百万円) (2024年3月末日現在)	③事業の内容
株式会社SBI証券	54,323	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	19,495	
SMBC日興証券株式会社	135,000	
auカブコム証券株式会社	7,196	
松井証券株式会社	11,945	
マネックス証券株式会社	13,195	
moomoo証券株式会社	3,500 (2023年12月末日現在)	

2【関係業務の概要】

（1）受託者

当証券投資信託契約の受託者として、委託者との信託契約の締結、信託財産の保管・管理・計算業務を行います。

なお、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することができます。

（2）販売会社

当証券投資信託の販売会社として、受益権の募集の取扱い・販売、目論見書および運用報告書の交付、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

3【資本関係】

ありません。

第3【その他】

（1）目論見書の表紙から本文の前までの記載等について

- ①金融商品取引法の規定に基づく目論見書である旨を記載することがあります。
- ②交付目論見書または請求目論見書である旨を記載することがあります。
- ③委託会社等の情報、受託会社に関する情報を記載することがあります。
- ④詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載することがあります。
 - ・委託会社のホームページアドレス、電話番号及び受付時間等
 - ・請求目論見書の入手方法及び投資信託約款が請求目論見書に掲載されている旨
- ⑤使用開始日を記載することがあります。
- ⑥届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載することがあります。
 - ・届出をした日及び当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
 - ・届出をした日、届出が効力を生じている旨及び効力発生日
- ⑦次の事項を記載することがあります。
 - ・投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
 - ・請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨及び当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨
 - ・「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載
 - ・ファンドの内容に関して重大な変更を行う場合には、投信法に基づき事前に投資者の意向を確認する旨
 - ・投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金（貯金）保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではない旨
 - ・投資信託は元本が保証されているものではなく、投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入されたお客様に負っていただく旨
 - ・登録金融機関の販売の場合には、投資者保護基金の対象とはならない旨
 - ・課税上の取扱いに関する事項
- ⑧委託会社、当ファンドのロゴ・マーク等を記載することがあります。
- ⑨ファンドの形態等を記載することがあります。
- ⑩図案を採用することがあります。

（2）目論見書は別称として「投資信託説明書」と称して使用することがあります。

（3）交付目論見書にクーリング・オフに関する事項を記載することがあります。

（4）目論見書は電子媒体等として使用される他、インターネット等に掲載される場合があります。

（5）請求目論見書に当ファンドの投資信託約款の全文を記載します。

独立監査人の監査報告書

2024年6月18日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
取締役会御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所 指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 長尾 充洋
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 佐久間 啓

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第31期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2024年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２．XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2024年3月6日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 山口 健 志
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 佐 藤 孝
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているNZAM・ベータ 米国2資産（株式＋REIT）の2022年12月13日から2023年12月11日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、NZAM・ベータ 米国2資産（株式＋REIT）の2023年12月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2024年9月6日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 山口 健 志
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 佐 藤 孝
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているNZAM・ベータ 米国2資産（株式＋REIT）の2023年12月12日から2024年6月11日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、NZAM・ベータ 米国2資産（株式＋REIT）の2024年6月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2023年12月12日から2024年6月11日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。